

# 川越市文化財保護年報

令和6年度

川越市教育委員会  
文化財保護課



## 序

文化財とは、「我が国の長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられた貴重な遺産」です。また、それぞれの土地における歴史・伝統・文化などを理解するために欠くことのできないものであると同時に、将来の文化を創り出す礎となる貴重なものです。

川越市内には、長い歴史の中で生み出されてきた数多くの文化財が所在します。その内容は多種多様に及び、文化財保護法に定義された、有形文化財・民俗文化財・記念物・伝統的建造物群及び埋蔵文化財も多く存在しています。

また、市内には歴史上・芸術上・学術上において価値の高い文化財が、その指定の有無にかかわらず存在しています。時代の変化により人々の生活や世相に移り変わりはあっても、文化財の貴重な価値は不変です。川越市教育委員会では、このような文化財を後世に引き継ぐため、その保存と活用を充実させた様々な事業に取り組んでいます。

このたび刊行しました「川越市文化財保護年報」では、令和6年度に川越市教育委員会が実施した文化財の保存、活用などの事業を、写真や図を用いてわかりやすく紹介しました。

また、平成31年の文化財保護法の改正により、「文化財保存活用地域計画」の策定が法制化され、川越市では、令和5年12月に「川越市文化財保存活用地域計画」が文化庁から認定されました。そして、令和7年3月には、国指定史跡河越館跡の「史跡河越館跡保存活用計画」を策定し、河越館跡の保存と活用に関する基本的な方針を定めました。

これらの計画は、今後の文化財の保存と活用等のあり方を示すとともに、市民の皆さまと協力して文化財の価値や重要性等を共有し、貴重な文化財を次世代に継承していくための方向性を示したものといたします。

最後に、この年報が多くの皆さまにご活用いただき、文化財保護意識の高揚の一助になれば幸いです。

令和8年3月

川越市教育委員会 教育総務部 文化財保護課

# 目次

<b>1</b>	<b>文化財保護課の目標と決算</b> .....	<b>1</b>
1-1	目標 .....	1
1-2	令和6年度決算及び前年度比較 .....	1
<b>2</b>	<b>教育委員会事務局組織と文化財保護課の主な事務</b> .....	<b>2</b>
<b>3</b>	<b>附属機関</b> .....	<b>2</b>
3-1	文化財保護審議会 .....	2
3-2	川越氷川祭の山車行事山車等修理検討委員会 .....	3
3-3	川越市河越館跡整備検討委員会 .....	4
3-4	川越市山王塚古墳整備検討委員会 .....	5
3-5	川越市伝統的建造物群保存地区保存審議会 .....	6
<b>4</b>	<b>河越館跡史跡整備事業</b> .....	<b>7</b>
4-1	史跡の概要 .....	7
4-2	保存整備の経過 .....	8
4-3	史跡整備に係る主な事業経過 .....	9
4-4	公有化の推移 .....	9
4-5	河越館跡活用事業等 .....	10
	(1) 河越流鏝馬 .....	10
	(2) 行為許可 .....	11
	(3) 川越西文化会館展示コーナー .....	11
<b>5</b>	<b>山王塚古墳史跡整備事業</b> .....	<b>12</b>
5-1	史跡の概要 .....	12
<b>6</b>	<b>川越氷川祭の山車行事伝承・活用等事業</b> .....	<b>13</b>
6-1	川越氷川祭の山車行事 .....	13
	(1) 概要 .....	13
	(2) 行事開催日 .....	13
6-2	保存修理事業 .....	14
	(1) 川越氷川祭山車 小狐丸の山車上段幕復元新調 .....	14
	(2) 川越氷川祭の山車行事に関するその他の修理事業 .....	15
<b>7</b>	<b>地域文化財総合活用推進事業</b> .....	<b>16</b>
	(1) 令和6年度 地域文化財総合活用推進事業（地域伝統行事・民俗芸能等継承振興事業） .....	16
<b>8</b>	<b>指定文化財の管理</b> .....	<b>17</b>
8-1	指定文化財保存事業（補助事業） .....	17
	(1) 有形文化財・建造物の防災設備保守点検 .....	17
	(2) 史跡・天然記念物の保存 .....	17
	(3) 有形文化財の修理 .....	17
	(4) 民俗文化財の修理 .....	18

8-2	文化財保存団体への助成と活動状況 .....	18
(1)	無形民俗文化財の後継者育成・保存事業 .....	18
(2)	文化財関係団体への助成 .....	19
8-3	主な保存事業 .....	19
(1)	補助事業（臨時） .....	19
(2)	補助事業（緊急） .....	22
<b>9</b>	<b>文化財調査 .....</b>	<b>24</b>
9-1	古文書等調査 .....	24
9-2	山車調査 .....	24
9-3	指定文化財悉皆調査 .....	25
9-4	指定文化財・原田家住宅経年劣化把握調査 .....	25
<b>10</b>	<b>川越市文化財保存活用地域計画 .....</b>	<b>26</b>
10-1	川越市文化財保存活用地域計画とは .....	26
10-2	地域計画にともなう文化財の調査について .....	26
10-3	文化財保存活用地域計画にともなう講座について .....	26
<b>11</b>	<b>文化財の活用 .....</b>	<b>27</b>
11-1	資料の貸出 .....	27
(1)	常設展等に貸与した資料 .....	27
(2)	特別展・企画展等に貸与した資料 .....	27
11-2	市指定文化財の活用状況 .....	28
(1)	時の鐘 .....	28
(2)	永島家住宅（旧武家屋敷） .....	28
(3)	川越城中ノ門堀跡 .....	29
11-3	他部局所管の文化財施設の状況 .....	29
(1)	川越城本丸御殿（博物館） .....	29
(2)	川越市蔵造り資料館（博物館） .....	30
(3)	旧川越織物市場、旧栄養食配給所（都市景観課） .....	30
(4)	川越市旧山崎家別邸、川越市旧山崎氏別邸庭園（観光課） .....	31
(5)	川越市産業観光館（産業振興課） .....	31
11-4	文化財の公開 .....	32
<b>12</b>	<b>埋蔵文化財 .....</b>	<b>34</b>
12-1	埋蔵文化財調査一覧 .....	34
(1)	発掘調査件数の推移 .....	34
(2)	発掘調査一覧 .....	34
(3)	試掘調査一覧 .....	35
13-2	試掘調査 .....	37
12-3	教育委員会の発掘調査　5件 .....	57
(1)	川越城跡第49次調査 .....	57

(2) 川越城跡第 51 次調査.....	58
(3) 川越城跡第 52 次調査.....	59
(4) 川越城跡第 53 次調査.....	60
(5) 川越城跡第 54 次調査.....	61
12-4 遺跡調査会の発掘調査    3 件 .....	62
(1) 龍光遺跡（第 17 次調査） .....	62
(2) 川越城跡（第 50 次調査） .....	63
(3) 西中原 1 号墳第 2 次調査 .....	64
<b>13 伝統的建造物群保存地区保存整備事業.....</b>	<b>66</b>
13-1 伝統的建造物群保存地区制度.....	66
13-2 地区概要.....	66
13-3 地区の特性.....	67
13-4 令和 6 年度の主な事業の概要.....	67
13-5 現状変更行為件数 .....	67
13-6 保存事業.....	68
(1) 保存事業補助金交付額 .....	68
(2) 保存事業の内容 .....	68
13-7 保存活動事業 .....	71
13-8 伝統的建造物の特定状況 .....	71
13-9 防災訓練支援 .....	72
13-10 蔵造り資料館耐震化事業 .....	73
<b>14 普及・啓発事業.....</b>	<b>74</b>
14-1 職員の派遣.....	74
14-2 刊行物 .....	75
14-3 防火訓練.....	76
14-4 遺跡発表会 2024 .....	77
14-5 国指定史跡 河越館跡現地見学会 .....	77
(1) 河越館跡現地見学会.....	77
<b>15 川越市の文化財数 .....</b>	<b>78</b>

# 1 文化財保護課の目標と決算

## 1-1 目標

川越市は、埼玉県を代表する文化財の街として知られている。これは、各地区に伝わった文化財や伝統芸能などを、地元の人々が今日まで大切に守り伝えてきた結果であり、今後もこれら貴重な文化財を、次の世代に引き継いでいかなければならない。

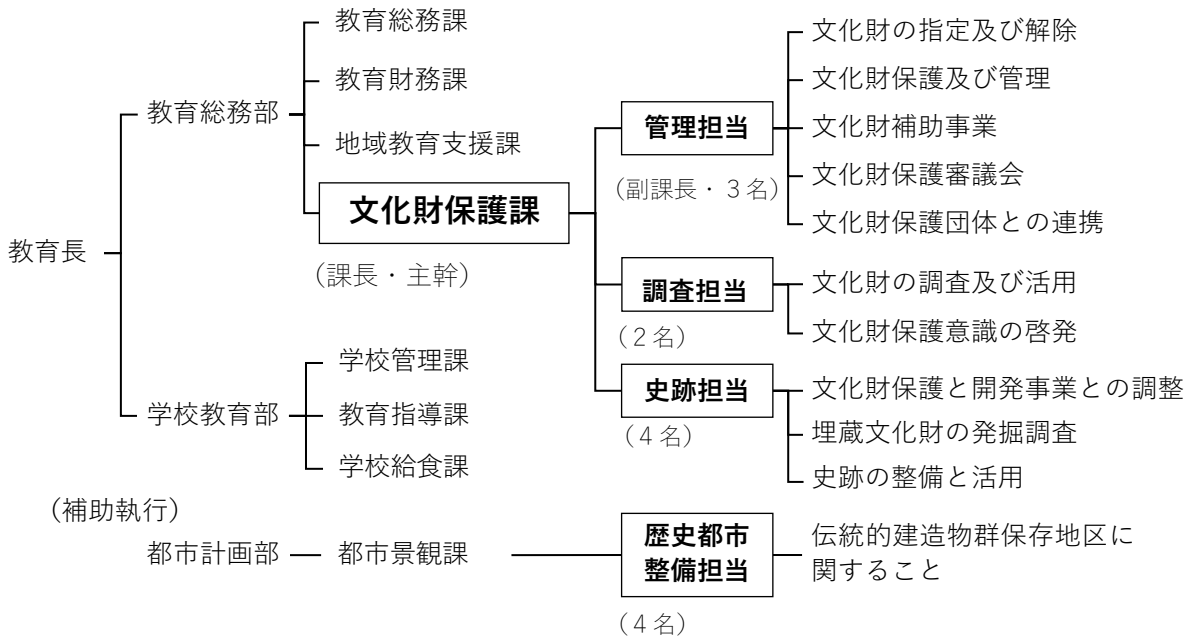
このため、次のような目標のもと、文化財の保存と活用を推進していく。

- ・ 文化財の諸調査を実施し、価値を高めそれを広く周知し、その保存と活用を図る。
- ・ 指定文化財の維持、管理の充実とその活用を図る。
- ・ 国指定史跡河越館跡及び国指定史跡山王塚古墳の整備及び活用の推進を図る。
- ・ 文化財保護意識の啓発に努める。
- ・ 文化財保護団体等との連携を図り、保護活動の推進に努める。

## 1-2 令和6年度決算及び前年度比較

区 分	令和5年度	令和6年度	比較増減額	増減率
一 般 会 計	127,096,650,755	130,469,349,651	3,372,698,896	102.7%
教 育 費	13,291,407,614	15,693,020,185	2,401,612,571	118.1%
文化財保護費	115,494,950	95,799,445	▲19,695,505	83%
文化財保護課一般事務	258,180	162,829	▲95,351	63.1%
文化財の維持・管理	8,031,808	10,155,434	2,123,626	126.5%
文化財の活用	44,537,514	36,449,252	▲8,088,262	81.9%
河越館跡整備	55,307,448	37,940,930	▲17,366,518	68.7%
文化財の保存修理	7,364,000	11,091,000	3,727,000	150.7%

## 2 教育委員会事務局組織と文化財保護課の主な事務



## 3 附属機関

文化財保護課では、文化財保護審議会をはじめ、個々の文化財について検討する委員会を現在4つ設置している。また、都市景観課では、伝統的建造物群保存地区保存審議会を設置している。

### 3-1 文化財保護審議会

川越市文化財保護審議会は、川越市文化財保護条例第4条に基づき設置されており、令和6年度は11名の委員を委嘱している。委員の役割分担は、考古・歴史・民俗・建築・植物・文学などにわかれており、川越市の指定文化財に関する調査と、指定文化財の維持・管理についての助言等を行う。

委員名簿（任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日）

職名	氏名	職名	氏名
会長	山野 清二郎	委員	馬場 弘
副会長	松尾 鉄城	〃	林 宏一
委員	大久根 茂	〃	牧野 彰吾
〃	小久保 徹	〃	水上 嘉代子
〃	佐藤 啓子	〃	水口 由紀子
〃	羽生 修二		

## 開催状況

第1回	期 日	令和6年7月26日（金）
	場 所	教育委員会室
	出 席 者	10名
	主な議題	・原田家住宅の調査について ・川越市文化財保存活用地域計画策定協議会の設置について ・国指定史跡山王塚古墳の整備状況について 等
第2回	期 日	令和7年2月7日（金）
	場 所	教育委員会室
	出 席 者	11名
	主な議題	・永島家住宅の樹木剪定等について ・国指定史跡河越館跡整備事業の進捗について ・市指定文化財追加候補資料について 等

### 3-2 川越氷川祭の山車行事山車等修理検討委員会

川越氷川祭の山車行事山車等修理検討委員会は、川越氷川祭の山車行事山車等修理検討委員会条例に基づき、川越氷川祭の山車行事に係る山車等の修理等に関して検討を行うため設置されている。令和6年度は、委員として民俗、建築、人形、繊維・染織を専門とする学識経験者と保護団体代表の5名を委嘱している。

委員名簿（任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日）

職 名	氏 名	職 名	氏 名
委員長	大久根 茂	委員	小澤 雄樹
副委員長	是澤 博昭	〃	馬場 弘
委員	水上 嘉代子		

## 開催状況

第1回	期 日	令和6年8月1日（木）
	場 所	教育委員会室
	出 席 者	5名
	主な議題	・祭礼後に寄せられた破損・不具合の報告統報 ・令和6年度の山車修理事業進捗について ・令和6年度以降の山車修理事業について
第2回	期 日	令和6年12月5日（木）
	場 所	教育委員会室
	出 席 者	5名
	主な議題	・祭礼後に寄せられた破損・不具合の報告

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祭礼後に寄せられた破損・不具合の報告統報</li> <li>・令和6年度の山車修理事業進捗について</li> <li>・令和8年度以降の山車修理事業について</li> </ul>
--	---

### 3-3 川越市河越館跡整備検討委員会

川越市河越館跡整備検討委員会は、川越市河越館跡整備検討委員会条例に基づき河越館跡の整備に関して検討を行うため設置されている。令和6年度は中世史、考古学、造園学、景観工学等を専門とする9名の委員を委嘱している。

委員名簿（任期 令和4年11月1日～令和6年10月31日）

職名	氏名	職名	氏名
委員長	浅野 晴 樹	委員	小久保 徹
副委員長	田 中 信	〃	齋藤 慎 一
委員	内 田 祥 士	〃	鈴木 誠
〃	落 合 義 明	〃	橋 口 定 志
〃	小 野 正 敏		

委員名簿（任期 令和6年11月1日～令和8年10月31日）

職名	氏名	職名	氏名
委員長	浅野 晴 樹	委員	小久保 徹
副委員長	田 中 信	〃	齋藤 慎 一
委員	内 田 祥 士	〃	鈴木 誠
〃	落 合 義 明	〃	橋 口 定 志
〃	栗岡 眞 理 子		

#### 開催状況

第1回	期 日	令和6年6月19日（水）
	場 所	オーク2 H2ビル 1階 会議室
	出席者	7名
	主な議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河越館跡史跡整備に伴う外周工事について</li> <li>・史跡保存活用計画について</li> <li>・史跡整備及び史跡保存活用計画策定のスケジュールについて</li> </ul>
第2回	期 日	令和6年10月30日（水）
	場 所	教育委員会室
	出席者	6名
	主な議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河越館跡史跡整備に伴う外周工事について</li> </ul>

		・史跡保存活用計画について
第3回	期 日	令和7年1月29日(水)
	場 所	教育委員会室
	出 席 者	6名
	主な議題	・委員長・副委員長選出 ・史跡保存活用計画について

### 3-4 川越市山王塚古墳整備検討委員会

川越市山王塚古墳整備検討委員会は、川越市山王塚古墳整備検討委員会条例に基づき、山王塚古墳の整備に関して、学識経験者・市内の公共団体などの代表者・学校教育機関の代表者により検討するため設置された。令和6年度は9名の委員を委嘱している。

委員名簿（任期 令和6年5月1日～令和8年4月30日）

職 名	氏 名	職 名	氏 名
委員長	広瀬和雄	委員	佐々木 誠
副委員長	池上 悟	〃	皆川光司
委員	須田 勉	〃	田中三喜雄
〃	宮瀧 交二	〃	永野 貴之
〃	押田 佳子		

#### 開催状況

第1回	期 日	令和6年7月23日(火)
	場 所	教育委員会室
	出 席 者	7名
	主な議題	・委員長・副委員長選出 ・山王塚古墳の国指定について ・川越市文化財保存活用地域計画の策定について ・史跡保存活用計画素案について ・保存活用計画策定のスケジュールについて
第2回	期 日	令和7年3月4日(火)
	場 所	川越市立博物館 会議室
	出 席 者	7名
	主な議題	・史跡河越館跡保存活用計画の策定について ・史跡保存活用計画素案について ・史跡保存活用計画策定のスケジュールについて

### 3-5 川越市伝統的建造物群保存地区保存審議会

川越市伝統的建造物群保存地区保存審議会は、川越市伝統的建造物群保存地区保存条例第10条に基づき設置されており、市長及び教育委員会の諮問に応じ、保存地区の保存等に関する重要事項について調査及び審議をし、並びにこれらの事項について市長及び教育委員会に建議することを目的としている。令和6年度は12名の委員を委嘱している。

委員名簿（任期 令和4年8月30日～令和6年8月29日）

職名	氏名	職名	氏名
会長	福川裕一	委員	森内優子
副会長	隈倉雄二郎	〃	長島貴子
委員	溝尾良隆	〃	石村晃龍
〃	田口陽子	〃	山川直美
〃	佐藤由美子	〃	原知之
〃	中山晶克	〃	竹澤穰治

委員名簿（任期 令和6年8月30日～令和8年8月29日）

職名	氏名	職名	氏名
会長	福川裕一	委員	森内優子
副会長	隈倉雄二郎	〃	長島貴子
委員	溝尾良隆	〃	大塚 淳
〃	田口陽子	〃	山川直美
〃	佐藤由美子	〃	原知之
〃	斉藤 豊	〃	竹澤穰治

#### 開催状況

第1回	期 日	令和6年11月18日（月）
	場 所	教育委員会室
	出席者	11名
	主な議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度伝建地区保存整備事務について</li> <li>・令和5年度国庫補助事業について</li> <li>・令和6年度国庫補助事業について</li> </ul>

## 4 河越館跡史跡整備事業

### 4 - 1 史跡の概要

1. 種別 史跡
2. 名称 河越館跡
3. 所在地 埼玉県川越市大字上戸 192 - 1 他
4. 指定等種別 昭和 59 年 12 月 6 日史跡指定  
・年月日 文部省告示第 142 号
5. 指定理由
  - (1) 指定基準 特別史跡名勝天然記念物及び史跡名勝天然記念物指定基準史跡 2（城跡）による。
  - (2) 説明 河越館跡は川越市の北西部、入間川西岸に位置し、その規模は現存土塁の外周に検出された堀跡を含めて約 5 万平方メートルである。河越館跡は、鎌倉時代から南北朝時代にかけて有力な武蔵武士であった河越氏の城館の遺跡であり、中世武家政権を支えた在地の有力武士の実態を究明する上においてもきわめて重要な遺跡である。
6. 指定地域 川越市大字上戸 192 - 1 他
7. 指定地の面積 48509.18 m<sup>2</sup>
8. 管理団体又は所有者
  - (1) 名称 川越市
  - (2) 指定年月日 平成元年 7 月 31 日



河越氏時代の堀区画



塚状遺構

## 4 - 2 保存整備の経過

昭和7年度	河越館跡県指定史跡となる
昭和46年度～59年度	範囲確認調査（第1～9次）
昭和59年度	河越館跡国指定史跡となる
昭和61年度	史跡河越館跡保存管理計画策定
昭和62年度	史跡河越館跡整備計画基礎調査報告書作成
平成元年度	川越市、史跡河越館跡の管理団体として指定を受ける
平成5年	常楽寺離れ建替の現状変更に伴う確認調査
平成7年度～令和3年度	河越館跡史跡整備に伴う発掘調査（第1～18次）
平成13年度	史跡河越館跡整備基本計画策定
平成14年度	常楽寺本堂建替の現状変更に伴う確認調査
平成17年度	国史跡河越館跡整備資料報告書作成
平成18年度	河越館跡史跡整備基本設計書策定
平成19年度	河越館跡（第1期）史跡整備実施設計書策定
平成19年度～21年度	第1期史跡整備工事
平成21年度	河越館跡史跡公園開園（13,266.00 m <sup>2</sup> ）
平成28年度	河越館跡用地測量業務委託
平成30年度	河越館跡物件調査業務委託
令和元年度	河越館跡用地測量業務委託
令和5年度	河越館跡外周整備工事に伴う新田屋敷遺跡第15次調査 河越館跡外周整備工事に伴う基礎構造物撤去工事業務委託 河越館跡外周整備工事に伴う土質調査業務委託 河越館跡外周整備工事に伴う道路詳細設計業務委託
令和6年度	河越館跡外周整備工事に伴う道路・暫定駐車場建設 国指定史跡河越館跡保存活用計画策定

### 4-3 史跡整備に係る主な事業経過

1. 令和6年6月19日(水)に「令和6年度第1回川越市河越館跡整備検討委員会」、令和6年10月30日(水)に同2回、令和7年1月29日(水)に同3回を開催した。
2. 「史跡河越館跡保存活用計画」策定：令和7年3月31日策定
3. 河越館跡外周整備事業として、下記の事業を実施した。
  - ・道路および暫定駐車場建設：令和6年8月27日(火)～令和7年5月27日(火)

### 4-4 公有化の推移

年度	取得面積 (㎡)	取得面積 合計(㎡)	公有化率	年度	取得面積 (㎡)	取得面積 合計(㎡)	公有化率
昭和45年度	5,865	5,865	12%	平成9年度	1,763	22,169	45%
昭和46年度	6,741	12,606	26%	平成10年度	10,286	32,455	67%
昭和47年度	809	13,415	27%	平成11年度	1,638	34,093	70%
平成元年度	253	13,668	28%	平成12年度	181	34,274	70%
平成2年度	487	14,155	29%	平成13年度	1,999	36,273	74%
平成3年度	512	14,667	30%	平成14年度	295	36,568	75%
平成4年度	796	15,463	32%	平成15年度	204	36,772	76%
平成5年度	1,196	16,659	34%	平成16年度	395	37,167	77%
平成6年度	1,079	17,738	36%	平成17年度	232	37,399	77%
平成7年度	1,275	19,013	39%	令和元年度	2,619	40,018	82%
平成8年度	1,393	20,406	42%				

※公有化率は、公有化開始以降の推移がわかるように国指定地面積(48,509.18㎡)に対する公有地面積で示す。なお、公有地化予定面積(常楽寺を除く)の公有化率は100%である。

## 4 - 5 河越館跡活用事業等

### (1) 河越流鏝馬

1. 開催日：令和6年11月9日（土）
2. 会場：国指定史跡河越館跡
3. 主催：河越流鏝馬実行委員会・川越市教育委員会
4. 協力：上戸小校区8自治会・上戸自治会・鯨井自治会・上戸芸能保存会・鯨井の万作保存会・（公社）小江戸川越観光協会・川越市文化財保護協会
5. 演武者：倭式騎馬會
6. 見学者数：約3,000人
7. 概要：市内上戸にある国指定史跡河越館跡の活用事業として「河越流鏝馬実行委員会」との共催のもと、河越流鏝馬を実施した。会場となった整備予定地には、南東から北西方向に約190mの直線コースの馬場を設置。南東を馬場本、北西を馬場末とし、南東から北西に向かって馬を走らせた。

行事の流れとしては、地元保存会による芸能実演後、常楽寺境内で出陣式を行った。その後、流鏝馬会場に移動し、天地人三才之儀、扇舞之儀が行われたのち、3人の狩装束を身にまとった射手が馬を馳せて流鏝馬を行った。

なお、流鏝馬行事は正式の三的で行い、日本の在来馬を用いた。



地元保存会による芸能実演



出陣式 常楽寺にて



馬場入場



流鏝馬

## (2) 行為許可

令和6年度の許可行為については、下記のとおりである。

	行為日	行為目的
1	6月4日	上戸小学校放課後子供教室
2	10月26日	上戸小校区スポーツ振興会グラウンドゴルフ大会
3	11月16日	上戸自治会グラウンドゴルフ大会
4	2月16日	上戸育成会の通学班新旧顔合わせ会

## (3) 川越西文化会館展示コーナー

平成21年11月の河越館跡史跡公園開園に合わせ、これまでの発掘調査の成果を公開するための施設として、隣接する川越市立上戸小学校の校舎内に資料展示室を設けたが、令和2年度をもって閉室となった。そのため、令和3年4月16日より川越西文化会館の図書コーナーの一角を借用し、発掘調査の成果等を展示しており、その展示の一部を令和6年度にリニューアルした。



川越西文化会館展示状況（河越館周辺の奈良・平安時代の遺物）



川越西文化会館展示状況（河越館跡出土遺物）

## 5 山王塚古墳史跡整備事業

### 5 - 1 史跡の概要

- |              |   |
|--------------|---|
| 1. 種別        | 史跡  |
| 2. 名称        | 山王塚古墳   |
| 3. 所在地       | 埼玉県川越市大塚一丁目 21 番 12 他   |
| 4. 指定等種別     | 令和 5 年 3 月 20 日史跡指定   |
| ・年月日         | 文部省告示第 14 号   |
| 5. 指定理由      |   |
| (1) 指定基準     | 特別史跡名勝天然記念物及び史跡名勝天然記念物指定基準史跡 1 (古墳) による。  |
| (2) 説明       | 我が国最大規模の上円下方墳であり、その形状や構築方法は、武蔵国の地域的な要素と畿内的な要素の双方が確認される。武蔵国における最終段階の大型古墳のひとつであり、大型古墳築造の終焉を考える上でも重要である。 |
| 6. 指定地域      | 川越市大塚一丁目 21 番 12 他  |
| 7. 指定地の面積    | 8,409.43 m <sup>2</sup>   |
| 8. 管理団体又は所有者 |   |
| (1) 名称       | 川越市   |
| (2) 指定年月日    | 令和 5 年 7 月 4 日  |



山王塚古墳の遠景（南から）

## 6 川越氷川祭の山車行事伝承・活用等事業

### 6-1 川越氷川祭の山車行事

#### (1) 概要

川越氷川祭の山車行事は、川越氷川神社の例大祭である川越氷川祭に付随して行われる行事である。川越氷川祭は、江戸時代初期に川越藩主松平伊豆守信綱が、川越氷川神社に神輿や獅子頭などの祭礼用具を寄進し、祭礼の執行を奨励したことがはじまりとされている。

川越氷川神社の氏子のうち旧十ヶ町と呼ばれる各町では、江戸時代以来、山車などの練り物を出して神輿の神幸の供奉してきた。また、自町内や他町に山車を曳き、他町の山車と出会う際には互いに山車を向け合い囃子の競演を行う「曳っかわせ」を行うなど、祭事に伴う多彩な民俗を受け継いできた。行事の規模、範囲が拡大した現代では、市民まつりとしての側面も担っている。

現在使用される山車の形状は、上下可動式の二重鉦で上に人形を載く江戸型山車であり、江戸の天下祭の影響を強く受けている。また、囃子台の方向を自在に向けられるように、せいご台より上の部分が水平に回転する仕組みを持つ山車も多い。

山車のうち 10 台が昭和 43 年に「川越氷川祭山車」として県の有形民俗文化財に指定され、平成 17 年には行事自体が「川越氷川祭の山車行事」として国の重要無形民俗文化財に指定された。そして平成 28 年には「川越氷川祭の山車行事」を含む全国 33 件の祭礼行事が一括で「山・鉦・屋台行事」としてユネスコ無形文化遺産に登録された。

この行事を継続していくためには様々な問題を抱えているが、中でも近年は道路の舗装化や行事の毎年開催化の影響により、山車の劣化損傷が避けられない状況にある。人形や装飾品についても、経年劣化や急な悪天候を原因とした汚損や破損が起きている。

このことから、国指定に係る 13 町が保有する 14 台の山車と、県指定に係る 1 町 1 台の山車について、損傷状況を調査した上で、順次保存修理事業を行っている。

#### (2) 行事開催日

令和 6 年度は、10 月 19 日午後には氷川神社神幸祭が執行された。神輿行列の出御に合わせて氏子町の山車 7 台が供奉及び見送りを行った。また、川越まつりが実施された 10 月 19 日・20 日を通じて山車の曳行、曳っかわせ等が行われた。



令和 6 年度の山車行事の様子

## 6-2 保存修理事業

令和6年度は5町7台の山車について、保存修理を行った。

### (1) 川越氷川祭山車 小狐丸の山車上段幕復元新調

事業名称 川越氷川祭の山車行事民俗文化財伝承・活用等事業  
対象文化財 重要無形民俗文化財 川越氷川祭の山車行事  
埼玉県指定有形民俗文化財 川越氷川祭山車 付絵馬一面絵巻一卷  
事業期間 令和6年4月1日～令和8年3月31日予定

#### 山車の概要

幸町金山会が所有する小狐丸の山車は四つ車・二重鉦・欄間仕立ての囃子台・廻り舞台を持つ江戸型山車である。山車は明治初年に原舟月が製作し、山車人形は天保6年（1835）修理の銘が残る。旧鍛冶町が所有していた山車であり、山車人形は三条小鍛冶宗近である。

#### 破損状況と修理内容

当山車の上段幕は昭和3年に製作されたものであるが、長年使用したことで刺繍の留め糸のほつれや退色、汚れ、シミが目立っていた。また、布自体の強度が落ちており一部が破損しているほか、龍の爪の一部が欠落するなどの不具合が起きていたことから、現幕と同材、同仕様を基本とした復元新調を行うこととなった。

復元新調にあたっては、現幕の素材、加飾技法、意匠を出来る限り忠実に復元し、この新調により幕の元の形を回復させるとともに、染織技術や祭の伝統をも継承していくことを目的とした。当事業は2箇年計画で実施する予定であり、初年度である令和6年度は、主に龍の刺繍等を製作した。施工は株式会社川島織物セルコンの請負。

#### 検品時写真



## (2) 川越氷川祭の山車行事に関するその他の修理事業

その他、緊急で実施した修理事業は以下の通り。

山車名（町名）	事業内容
羅陵王の山車（仲町）	山車人形面紐復元新調
山王の山車（元町二丁目）	山車人形衣装（狩衣）修理
羅陵王の山車（仲町）	中高欄擬宝珠修理
秀郷の山車（喜多町）	山車人形足首修理
秀郷の山車（喜多町）	山車上高欄修理
道灌の山車（連雀町）	山車唐破風屋根等修理

## 7 地域文化財総合活用推進事業

本事業は、地域のコミュニティを形成するうえで極めて重要とみなされる伝統行事・伝統芸能等を確実に次世代に継承するため、用具の修理・後継者養成など、各地域の実情に応じた取組に対して補助金を交付するものである。

また、地域の伝統行事等の基盤整備を支援し、収益機能の強化や官民連携の取組を促すとともに、取組内容の促進・検証の支援や情報発信の取組を行うことで、持続可能な基盤形成を図り、地域活性化を推進することを目的としている。

令和6年度は川越市文化遺産活用実行委員会を事業者として2団体が申請し、交付決定を受けて事業を実施した。

### (1) 令和6年度 地域文化財総合活用推進事業（地域伝統行事・民俗芸能等継承振興事業）

当事業に対して大塚新田自治会、南田島囃子連足踊り保存会より事業実施の希望があり、川越市文化遺産活用実行委員会として交付申請を行った。

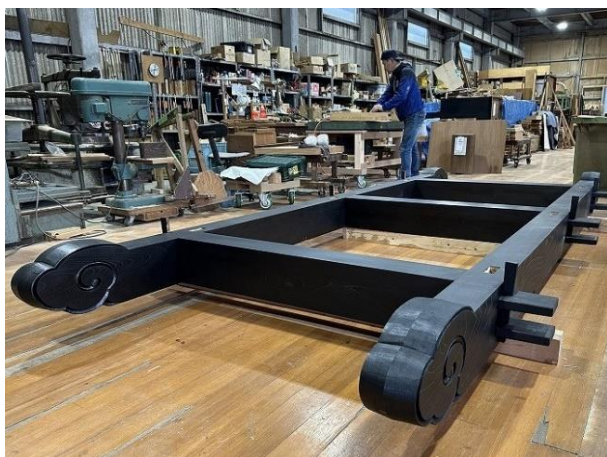
この結果、補助金額 7,317,000 円の交付決定を受けた（総事業費 9,933,330 円）。事業概要は以下のとおり。

事業名称 川越市文化遺産活用事業

事業期間 令和6年4月10日～令和7年3月31日

事業内容 用具等整備（修理）

大塚新田地区の「秋まつり」で用いられる「頼朝の山車」の轆、並びに南田島地区の氷川神社の祭礼ほかで演奏される獅子頭の損傷が激しいため、復元新調、修理を行った。



轆



獅子頭

## 8 指定文化財の管理

### 8-1 指定文化財保存事業（補助事業）

令和6年度に補助金を交付した保存事業は以下のとおりである。

#### （1）有形文化財・建造物の防災設備保守点検（川越市補助金総交付額 455,000円）

国指定文化財	喜多院客殿ほか	防災設備保守点検	経常
国指定文化財	東照宮本殿ほか	防災設備保守点検	経常
国指定文化財	日枝神社本殿	防災設備保守点検（2件）	経常
国指定文化財	大沢家住宅	防災設備保守点検	経常
県指定文化財	三芳野神社	防災設備保守点検	経常
県指定文化財	氷川神社・八坂神社	防災設備保守点検	経常
県指定文化財	古尾谷八幡神社社殿	防災設備保守点検	経常
市指定文化財	原家住宅	防災設備保守点検	経常
市指定文化財	小島家住宅	防災設備保守点検	経常
市指定文化財	田中家住宅	防災設備保守点検	経常

#### （2）史跡・天然記念物の保存（川越市補助金総交付額 1,309,000円）

市指定文化財	鯨井のヒイラギ	環境整備	経常
市指定文化財	牛塚古墳	環境整備	経常
市指定文化財	下小坂の大ケヤキ	環境整備	経常
市指定文化財	上戸日枝神社境内	環境整備	経常
市指定文化財	古市場のヒイラギ	環境整備	経常
市指定文化財	愛宕神社古墳	環境整備（5/5年目）	臨時
市指定文化財	浅間神社古墳	環境整備	臨時
市指定文化財	笠幡浅間神社のヒヨクヒバ	環境整備	緊急
市指定文化財	上戸日枝神社境内	環境整備（桜・檜伐採）	緊急
市指定文化財	薬師神社（伊佐沼）	環境整備	緊急

#### （3）有形文化財の修理（川越市補助金総交付額 6,113,000円）

国指定文化財	喜多院保管指定文化財	燻蒸・殺虫	経常
国指定文化財	喜多院	修理事業（客殿襖）	臨時
県指定文化財	三芳野神社	設備入替	臨時
県指定文化財	川越城本丸御殿及び家老詰所	雨戸修繕	緊急
市指定文化財	的場八幡神社	シロアリ駆除	臨時
市指定文化財	福田家住宅	修理事業	臨時

市指定文化財	八坂神社社殿	修理事業（2件）	緊急
--------	--------	----------	----

（4）民俗文化財の修理（川越市補助金総交付額 1,693,000円）

国指定文化財	川越氷川祭の山車行事（幸町）	山車保存修理（1/2年目）	臨時
国指定文化財	川越氷川祭の山車行事（連雀町）	山車保存修理	緊急
県指定文化財	川越氷川祭山車（仲町）	山車保存修理（2件）	緊急
県指定文化財	川越氷川祭山車（元町二丁目）	山車保存修理（2件）	緊急
県指定文化財	川越氷川祭山車（喜多町）	山車保存修理	緊急

## 8-2 文化財保存団体への助成と活動状況

埼玉県・川越市指定無形民俗文化財17件について後継者育成・保存事業を実施、各団体に補助金を交付した。補助の対象となった文化財は次のとおりである。

（1）無形民俗文化財の後継者育成・保存事業（川越市補助金総交付額 1,121,000円）

県指定文化財	川越祭りばやし（中台）	後継者養成・保存事業	経常
県指定文化財	南大塚の餅つき踊り	後継者養成・保存事業	経常
県指定文化財	老袋の万作	後継者養成・保存事業	経常
県指定文化財	石原の獅子舞	後継者養成・保存事業	経常
県指定文化財	ほろ祭	保存事業	経常
県指定文化財	老袋の弓取式	保存事業	経常
市指定文化財	南田島の足踊り	後継者養成・保存事業	経常
市指定文化財	鯨井の万作	後継者養成・保存事業	経常
市指定文化財	中福の神楽	後継者養成・保存事業	経常
市指定文化財	石田藤宮神社の筒粥神事	保存事業	経常
市指定文化財	上寺山のマングリ	保存事業	経常
市指定文化財	福田の獅子舞	後継者養成・保存事業	経常
市指定文化財	上寺山の獅子舞	後継者養成・保存事業	経常
市指定文化財	川越の木遣り	後継者養成・保存事業	経常
市指定文化財	下小坂の獅子舞	後継者養成・保存事業	経常
市指定文化財	石田の獅子舞	後継者養成・保存事業	経常
市指定文化財	新宿雀ノ森のお焚き上げ	保存事業	経常

## (2) 文化財関係団体への助成（川越市補助金総交付額 400,000 円）

文化財の保護・普及を目的に活動している文化財保護団体に対し、団体育成のため川越市補助金を交付した。補助の対象となった団体は次のとおりである。

- ・川越氷川祭の山車行事保存会
- ・川越市文化財保護協会

## 8-3 主な保存事業

### (1) 補助事業（臨時）

#### ①喜多院客殿上段の間西側襖絵保存修理事業

事業名称 喜多院 客殿1棟 附 渡廊下一棟 上段の間西側襖絵保存修理事業

対象文化財 国指定重要文化財 建造物 喜多院

品質 紙本墨画、下地・ふち 素木

法量(本紙)、員数 縦 174.0 cm×横 105.5 cm、2面

所在地 小仙波町 1-20-1

事業期間 令和6年5月17日～同7年3月10日

#### 概要

令和4年1月下旬、喜多院から客殿上段の間の襖絵が破損している旨の連絡があった。これを受け、直ぐに作品の状況確認を行った。そして、本紙の剥がれ・破れ等がひどく、早急な修理が必要な状態であることを認識した。この状況を埼玉県文化資源課に報告し、県と協議を行い、国には修理届を、県には破損確認報告書を提出した。修理事業は、国、県と協議を重ね、令和6年度、県と市の補助金で対応することとなった。

修理業者は入札によって決定し、作業は業者の工房で行われた。修理は、破れや剥がれの著しい箇所を補修を中心に行い、その他は埃の除去などのクリーニングに留め、制作当初の時代の状態を活かす修理に留めることを基本方針とした。これに従い、裏打ち紙や補修紙は楮紙など伝統的な素材で修理を行った。また、修理前から本紙等に付着していた洋紙の裏打ち紙や下張りの紙片はほぼ取り除き、それらは修理記録の一環として、所有者に一括して返却した。

本紙の絵画部分は、オリジナルの状態が殆ど残っていないこともあり本格的な補彩は行わず、汚れや埃の除去などのクリーニング等の補修を行い、また、破損個所の修理を中心に実施した。修理後は、喜多院客殿上段ノ間の元の場所に戻した。また、国に終了届を提出し、業務完了の報告を行った。

#### ・修理業者

本事業は入札で業者を選定し、下記の業者に業務を委託した。

住所 東京都あきる野市小中野 550-8

名称 絵画書籍文化財修復工房 宮田文申堂 代表 宮田 正彦



襖絵 修理前の状況 (2面)

②東照宮本殿ほか 防災設備電線整備工事及びポンプ室内バッテリー交換工事

事業名称 東照宮本殿ほか 防災設備電線整備工事及びポンプ室内バッテリー交換工事

対象文化財 国指定重要文化財 建造物 東照宮本殿ほか

所在地 小仙波町 1-21-1

事業期間 令和6年10月29日～同7年3月10日

概要

令和4年に社務所を建て替えたことにより、新旧の配線が混線し、また、配線を途中から別の配線に結線するなど継ぎ足しのような形となった。さらに、配線用ポールが斜面に刺さっており、不安定な状態にあった。そのため、混線した配線を整理し、電柱も安定した場所に移設する工事を行い、配線状況を安全な状態にした。

また、ポンプ室内のバッテリーは、令和5年度の定期点検で交換する時期となっているという指摘を受けていたので、電線工事に合わせて交換し、東照宮の防災設備が適切に作動するように整備工事を実施した。

電線整備工事及びバッテリー交換工事は、入札によって下記の業者に決定し、各工事を依頼した。

1)電線整備工事業者

住所 東京都東村山市富士見町 1-1-1

名称 オーエフ(株) 代表取締役 栗山 統安

2)バッテリー交換業者

住所 東京都中央区明石町 1-25 藤原ビル 3F

名称 八洲防災設備(株) 代表取締役 鳥屋尾 豊

### ③三芳野神社防災設備改良工事

事業名称 三芳野神社社殿及び末社蛭子社・大黒社 3棟 付 明暦二年の棟札一枚 防災設備改良工事

対象文化財 県指定有形文化財 建造物 三芳野神社社殿及び末社蛭子社・大黒社ほか

所在地 郭町 2-25-11

事業期間 令和6年5月8日～同6年11月8日

#### 概要

三芳野神社のポンプは、令和3年度の定期点検で不具合が見つかり修繕を実施したが、同5年度の点検において、自動運転ではポンプが起動しない不具合が指摘された。ポンプの経年劣化もあり、修繕ではポンプの機能改善、維持が困難なことから、同6年度に動力ポンプの入替を実施した。

この事業は、入札によって下記の業者に決定し、業務を委託した。

#### ・防災設備改良工事業者

住所 川越市大字下松原 639-4

名称 (株)カナイ消防機材 代表取締役 金井 隆

### ④福田家住宅保存修理工事

事業名称 福田家住宅保存修理事業

対象文化財 市指定有形文化財 建造物 福田家住宅

所在地 川越市大手町 14-4

事業期間 令和6年8月1日～同年12月6日

#### 概要

福田家住宅は、明治26年(1893)の川越大火後の建造物で、明治31年(1898)11月に資本金3万円で設立された川越貯蓄銀行の建物だったものを、福田家が洋服仕立業を営むために取得したものである。そのためか、1階は両側に戸袋、2階は観音扉が一つだけなど、いかにも閉鎖的な様相で、外観は川越では珍しい寄棟造妻入である。建築年代は明治31年ころと考えられるが、明治時代の銀行建築の特徴を残した貴重な建築である。

今回の工事は、大屋根と下屋の瓦を葺き替え、雨樋を交換した。あわせて、2階の観音扉(東側・向かって左側)の下部の破損を修理した。母屋の先端の外壁について、漆喰が剥がれ土が出ている部分を、漆喰で補修する工事を行った。



修理前



修理後

#### ⑤浅間神社古墳環境整備事業

事業名称 浅間神社古墳 環境整備事業  
対象文化財 市指定記念物 史跡 浅間神社古墳  
所在地 富士見町 21-1  
事業期間 令和6年4月25日～令和6年7月30日

##### 概要

現在の樹木の植生状況を把握し、危険樹木などの優先順位を決めて、史跡内の植栽管理計画を作成した。その計画に沿って、枯枝木伐採及び障害枝の剪定作業を実施してきた。

今年度は神社東側、及び国道16号線沿いで、隣地に越境した危険樹木の剪定作業を中心にを行い、安全確保と環境整備に努めた。

#### ⑥愛宕神社古墳樹木整備作業

事業名称 愛宕神社古墳 樹木整備作業  
対象文化財 市指定記念物 史跡 愛宕神社古墳  
所在地 仙波町 4-5-9  
事業期間 令和6年6月29日～令和6年11月18日

##### 概要

樹木の植生状況を把握し、危険樹木の優先順位を決めて、伐採等の植栽管理計画を作成した。その計画に沿って、計画的に剪定作業を実施してきた。

今年度は、国道16号線側の西側で隣地に越境した樹木の剪定などを実施し、環境整備に努めた。

### (2) 補助事業（緊急）

#### ①八坂神社社殿保存修理工事

事業名称 八坂神社社殿保存修理事業  
対象文化財 県指定有形文化財 建造物 八坂神社社殿  
所在地 川越市宮下町 2-11-3  
事業期間 ①令和6年9月1日～同年11月30日  
②令和7年1月22日～同年3月31日 \* 2回実施

##### 概要

八坂神社社殿は、寛永14年（1637）江戸城二の丸東照宮として建立され、明暦2年（1656）三芳野神社の外宮として川越城内に移築され、明治5年（1872）川越氷川神社の境内に移されたと考えられている建造物である。江戸初期の特徴を有する貴重な建築であり、さらに江戸城内の宗教建築の遺構としても非常に価値が高い。

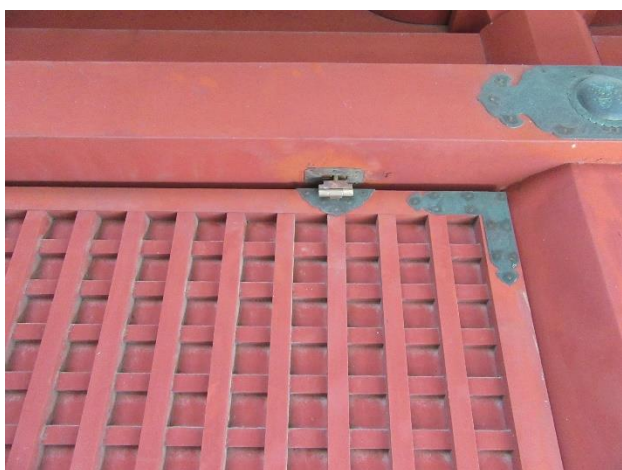
今回の工事は、2回実施した。1回目は建具（正面棧唐戸の化粧釘・社殿西側北部戸）の修繕、2回目は、1回目の工事で欠落していた東側部戸鍵の製作・取付けと、開いた正面棧唐戸を固定する金具を新規に製作・取付けた。



修理前



修理前 正面棧唐戸の化粧釘の脱落



修理前 社殿西側北葎戸上部の金具破損



修理後 正面棧唐戸の固定金具の設置

## ②川越城本丸御殿及び家老詰所雨戸等修繕工事

事業名称 川越城本丸御殿及び家老詰所雨戸等修繕工事業

対象文化財 県指定有形文化財 建造物 川越城本丸御殿及び家老詰所

所在地 川越市郭町2丁目13番地1

事業期間 令和7年1月17日～同年3月25日

### 概要

川越城本丸御殿及び家老詰所は、嘉永元年（1848）川越藩主松平齊典の時代に竣工された建造物である。明治維新後に玄関と大広間を残し、解体・移築された。そのうち家老詰所は、明治5年（1872）福岡村（現ふじみ野市）の星野家に払い下げられたものを、昭和63年度に現在地に復元移築したものである。これらの建造物は、近世の御殿建築の遺構として非常に価値が高い。

今回の工事は、家老詰所の南側雨戸の表板に割れが生じていたため、新規に杉材と和釘をもって張り替えた。また、家老詰所の室内の漆喰壁に剥落があったため、その部分を塗り直す修繕を行った。



家老詰所全景（南側）



修理後 雨戸を新規の杉板に張り替え

### ③、④ 上戸日枝神社境内樹木の剪定事業 2回

事業名称 上戸日枝神社境内危険樹木の剪定事業

対象文化財 市指定記念物 史跡 上戸日枝神社境内

所在地 上戸 316-1 ほか

事業期間 1回目 令和6年7月4日～令和6年7月31日

2回目 令和6年12月21日～令和7年2月21日

#### 概要

市指定史跡「上戸日枝神社境内」社殿前や、砂場上に延びていたサクラの枯枝の剪定作業を行い、参拝者などの安全に配慮した環境整備に努めた。

市指定史跡「上戸日枝神社境内」北東部の道路堺に位置するヒノキ2本の伐採を行い、歩行者等の安全を図る環境整備に努めた。

## 9 文化財調査

### 9-1 古文書等調査

川越の歴史を理解する基本史料の充実を図るため、市内に残る古文書の悉皆調査を行い、目録刊行のための整理事業を実施している。令和6年度は、市指定有形文化財の原田家住宅にある、原田家で所有されていた文書や写真等を整理した。整理は、文書史料1点ずつ中性紙の封筒につめ、表題や差出・受取などの情報を取るなど目録化の作業を行った。また、博物館の所蔵にかかる旧南古谷村行政文書（合計1239点）についても、封筒の交換や目録化の作業を行った。

### 9-2 山車調査

川越市では、国指定重要無形文化財「川越氷川祭の山車行事」で運行される14台の山車をはじめ、祭に使用する山車や屋台を保有している地区が多数ある。

令和6年度は、国指定重要無形民俗文化財「川越氷川祭の山車行事」で使用する「鉦女の山車」(大手町)の手書き図面を基に、CADトレースによる山車図面作成を実施した。図面製作の業務は、株式会社ミカミ・アイエヌジーに委託した。

### 9-3 指定文化財悉皆調査

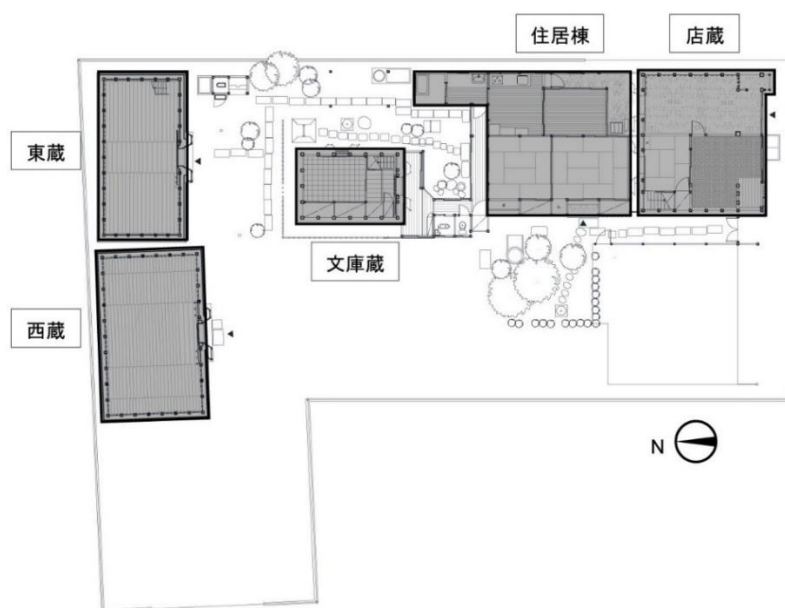
川越市では、『川越市の文化財』の冊子を昭和47年(1972)に初めて刊行し、市制施行100周年にあたる令和4年(2022)に最新版の第7版を刊行した。その際、解説文を改め掲載写真の差し替え等を行い、また、新たに54件の新指定文化財の解説等も追加した。この最新版の作成にあたり、指定文化財の状態や保管状況を確認する調査も併せて行い、現状把握に努めた。

そしてこの調査の成果を反映させ、健全な状態で次世代に継承していくことを目的とし、改訂版の刊行後も継続して悉皆調査を実施し、指定文化財の最新の状況等の把握を行った。

### 9-4 指定文化財・原田家住宅経年劣化把握調査

川越市では、令和3年に取得した市指定文化財建造物(店蔵)と市指定史跡に指定されている原田家住宅について、建物の現況の調査を実施した。令和4年度は、市指定文化財建造物の店蔵を始め、住居棟・文庫蔵・東蔵・西蔵の5棟を対象に、常時微動測定を実施し、あわせて、原田家住宅5棟の建造物の固有振動特性の評価に必要な構造調査を行った。また、令和5年の調査では、経年劣化把握調査2か年計画の1年目として、主に住居棟(主屋)と東蔵を対象に、展開図・断面図などの図面を作成した。

令和6年の調査の業務は、経年劣化把握調査2か年計画の2年目として、残りの店蔵・文庫蔵・西蔵を対象に、展開図・断面図などの図面を作成した。建造物調査は、令和4年・5年度も調査を行った実績のある特定非営利活動法人川越蔵の会に委託して実施した。



原田家住宅 調査対象範囲地図

## 10 川越市文化財保存活用地域計画

### 10-1 川越市文化財保存活用地域計画とは

平成31年施行の改正文化財保護法により、市町村が地域の文化財の保存・活用のために、文化財保存活用地域計画を作成できるようになった。川越市では、令和2年から地域計画の策定に向けて準備を始めた。

令和6年度は、令和5年12月15日に文化庁から川越市文化財保存活用地域計画（以下、地域計画）が認定されたことを受け、地域での未指定も含めた文化財の調査を見据え、高階地区と名細地区で講座を実施した。

### 10-2 地域計画にともなう文化財の調査について

令和3年と同4年に、地域計画の策定に向けた予備調査ということで文化庁の文化芸術振興費補助金を用いて、①民俗調査と②歴史史料調査を行った。令和6年は、①民俗調査は、川越民俗の会の有志に協力いただき、古谷地区・南古谷地区の石造物を調査した。②歴史史料調査は、立正大学専任講師の栗原先生を中心に、旧福原村の行政文書を調査した。

### 10-3 文化財保存活用地域計画にともなう講座について

地域計画の趣旨や川越市の歴史遺産の魅力を広く市民に周知するため、以下のような講座を実施した。高階地区のみの開催となったが、地域の未指定も含む文化財に対する地域住民の想いを知る講座となり、令和6年度から始まる地域計画を見据えた講座ともなった。

たかしの遺産めぐり講座4（於：高階公民館）

日程	時間	内容	人数
1月16日（木）	13時半～16時	高階地区の座学とフィールドワーク（砂・扇河岸）	8
1月30日（木）	13時半～15時半	地域計画の座学、たかしの遺産についてワークショップ	7



フィールドワーク（扇河岸周辺）



ワークショップ

歴史講座 石造物の見方（於：名細公民館）

日程	時間	内容	人数
3月7日（金）	13時半～15時半	名細地区の石造物について座学	34

## 11 文化財の活用

### 11-1 資料の貸出

令和6年度には3件の依頼を受け、下記のとおり資料の貸出しを行った。

#### （1）常設展等に貸与した資料（3件）

貸出期間	貸出先	貸出目的	貸出資料
4月1日～3月31日	入間市博物館	常設展『人間の歴史』に展示	小仙波四丁目遺跡出土遺物5点
4月1日～3月31日	学校法人ひまわり学園	新園舎内展示ケースに展示	寿町東遺跡出土遺物10点
4月1日～3月31日	川越市立博物館	常設展『原始・古代コーナー』他に展示	河越館跡出土遺物他計292点

#### （2）特別展・企画展等に貸与した資料（0件）

なし

## 11-2 市指定文化財の活用状況

### (1) 時の鐘

種別 市指定有形文化財（建造物）

所在地 幸町 15-7

時の鐘は、江戸時代初期に川越城主酒井忠勝により現在の場所に創建された。大火による焼失を繰り返し、現在の時の鐘は明治26年（1893）の川越大火の翌年に再建された。現在では小江戸川越のシンボルとなっている。自動鐘打機による1日4回の鐘つき（午前6時、正午、午後3時、午後6時に各6打ずつ）と夜間ライトアップ（午後10時まで）を行っている。



月日	件名	内容
8月6・9日	原爆の日における時の鐘の点鐘	広島市及び長崎市の原爆死没者の冥福と平和を祈念するため、原爆投下の同日同時刻に点鐘した。
12月31日～ 1月1日	除夜の鐘	川越薬師講によりNPO法人川越蔵の会の協力の下、大晦日の除夜の鐘として時の鐘を108回打った。

### (2) 永島家住宅（旧武家屋敷）

種別 市指定記念物（史跡）

所在地 三久保町 5-3

永島家住宅は、川越城南大手門近くの武家地であった南久保町（現三久保町の一部）の一角に構えられた中級武士の武家屋敷である。平成21年に土地・建物の一部の寄付を受け、平成24年3月から庭園の公開を開始した。平成28年度に残りの建物部分が寄付され、土地・建物の全てが市の所有となった。



#### 庭園公開

一般公開 毎週土曜日（12月29日～1月3日除く）

特別公開 GW 5月3・5日（金・日）

川越まつり 10月19・20日（土・日）

公開時間 午前9時～午後4時

#### 見学者数

公開月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
公開日数(日)	4	6	5	4	5	4	5	5	4	4	4	5	55
見学者数(人)	142	201	112	42	48	61	343	177	77	137	120	117	1,577

### (3) 川越城中ノ門堀跡

種 別 県指定史跡「川越城跡」の一部

所在地 郭町1-8-6

川越城は長禄元年(1457)に太田道真・道灌父子により築城され、江戸時代まで存続した。中ノ門堀は、江戸時代の正保年間(1644~47)に川越藩主松平信綱が行った城の拡張工事に伴って築造された堀と考えられる。明治以降に旧城内の宅地化が進む中、堀跡としては唯一埋め立てられず遺されていた。平成20年度に市が用地取得、同21年度に整備を行い、同22年度から公開している。



公開時間 午前9時~午後5時(12月29日~1月3日除く)

## 11-3 他部局所管の文化財施設の状況

### (1) 川越城本丸御殿(博物館)

指定名称 川越城本丸御殿及び家老詰所

種 別 県指定有形文化財(建造物)

所在地 郭町2-13-1

本丸御殿は嘉永元年(1848)に当時の城主松平大和守齊典により建築された御殿建築。明治以降次第に解体され、玄関と大広間部分のみが残っている。昭和42年の県指定後に復原修理し、一般公開を開始した。家老詰所は昭和62年に復原移築された。



活用の状況

開館時間 午前9時~午後5時

休館日 月曜日(休日の場合は翌日)、第4金曜日(休日を除く)、12月29日~1月3日

現状変更・修理等の状況

なし

## (2) 川越市蔵造り資料館（博物館）

指定名称 旧小山家住宅(店蔵・袖蔵)、旧小山家住宅(住居棟、一番蔵、二番蔵、三番蔵、便所棟、稲荷社、門及び塀)

種 別 市指定有形文化財（建造物）

所在地 幸町7-9



明治26年(1893)の川越大火直後に、煙草商を営む小山家(屋号万文)が建設した蔵造り商家。昭和52年から川越市文化財保護協会により蔵造り資料館として公開され、昭和58年に教育委員会の所管となった。

活用の状況 耐震化工事のため休館

現状変更・修理等の状況

蔵造り資料館耐震化工事(平成28年～)

## (3) 旧川越織物市場、旧栄養食配給所（都市景観課）

指定名称及び所在地

旧川越市織物市場 松江町2-11-10

旧栄養食配給所 松江町2-12-4

種 別 市指定有形文化財（建造物）

旧川越織物市場は明治43年(1910)、衰退する川越の織物流通業界の起死回生策として建設された。

旧栄養食配給所は当初は事務所だったとみられる建物で、昭和9年(1934)から昭和20年(1945)まで栄養食配給所が開設されていた。

平成14年に建物、平成25年に土地を市が取得し、令和2年度から令和5年度まで旧川越織物市場及び旧栄養食配給所の復原・整備工事を実施した。

令和6年度からは復原した建物を活用し、「川越市文化創造インキュベーション施設(コエトコ)」として運営を行っている。



#### (4) 川越市旧山崎家別邸、川越市旧山崎氏別邸庭園（観光課）

指定・登録名称及び種別

旧山崎家別邸 国指定重要文化財（建造物）

旧山崎氏別邸庭園 国登録記念物名勝地

所在地 松江町2丁目7-8



旧山崎家別邸は、「亀屋」の5代目嘉七氏の隠居所として大正13年（1924）に建設された、和洋折衷住宅と和風庭園。保岡勝也が設計した。

平成18年度に市の所有となり、平成26年度に建物改修工事、平成27年度に植栽工事等を実施。平成28年度から庭園・母屋を一般公開している。令和元年9月30日付で国の重要文化財に指定された。

活用の状況

公開時間 4月～9月 午前9時30分～午後6時30分（入館は午後6時まで）

10月～3月 午前9時30分～午後5時30分（入館は午後5時まで）

休館日 第1・3水曜日、12月29日～1月1日

現状変更・修理等の状況

なし

#### (5) 川越市産業観光館（産業振興課）

登録名称 旧鏡山酒造明治蔵、旧鏡山酒造大正蔵、旧鏡山酒造昭和蔵

種別 国登録有形文化財

所在地 新富町1-10-1



明治8年（1875）に創業した鏡山酒造の酒蔵である。平成12年（2000）に廃業した翌年市が土地と建物を取得し、平成19～20年度に建物改修工事を実施した。平成22年度から産業観光館「小江戸蔵里」として活用している。

活用の状況

指定管理により、地域の特産物などを提供する飲食・物販施設として活用している。

平成29年度には、昭和蔵を改装し、埼玉県内にある全ての酒蔵の地酒を取り扱う、酒蔵の特性を活かした歴史や文化を感じてもらえる魅力ある施設として保存・活用している。

現状変更・修理等の状況

なし

## 11-4 文化財の公開

令和6年度に公開届の提出された文化財は以下のとおりである。

### (1) 常設展等に貸与した資料

	貸出期間	貸出先	貸出目的	貸出資料
1	4月1日～3月31日	入間市博物館	常設展『入間の歴史』に展示	小仙波四丁目遺跡出土資料5点
2	4月1日～3月31日	学校法人ひまわり学園	新園舎内展示ケースに展示	寿町東遺跡出土資料10点
3	4月1日～3月31日	川越市立博物館	常設展『原始・古代コーナー』等に展示	市内遺跡出土資料292点
4	7月2日～	川越市立博物館	常設展『原始・古代コーナー』にパネル展示	山王塚古墳復元図

### (2) 博物館等での公開

	貸出期間	貸出先	貸出目的	貸出資料
1	7月31日～8月6日	坂戸市教育委員会	第27回坂戸市埋蔵文化財出土品展に展示	下小坂古墳群出土資料一括
2	9月21日～10月6日	川越市立博物館	令和6年度埼玉県名刀展に展示	武州河越住新儀惣兵衛允則重作 太刀 1口
3	10月5日～12月1日	埼玉県立さきたま史跡の博物館	令和6年度企画展に展示	牛塚古墳出土品一括
4	10月12日～11月24日	埼玉県立歴史と民俗の博物館	特別展「鷹のおでましー鷹狩の美術ー」に展示	鷹絵額 12面のうち4面
5	3月15日～5月11日	川越市立博物館	令和6年度館蔵資料公開「川越ゆかりの美術工芸品」に展示	短刀(武州川越住英辰作/元治二年丑四月日) 1口・川越唐棧着物 2点・牛頭天王縁起絵巻 一幅、木彫鷹額 1面、川越氷川祭山車 10台付 絵馬一枚絵巻一卷

### (3) 川越まつり会館での山車展示

	公開期間	指定区分	公開した山車	保有町内
1	6月27日～8月27日	県指定 有形民俗	川越氷川祭礼山車（秀郷の山車）	喜多町

## 12 埋蔵文化財

川越市内には、345カ所の埋蔵文化財包蔵地があり、これらは国・県の指導により分布調査を行い設定したものである。この包蔵地内で土木工事などの開発行為を行う場合には、工事に先立って、埋蔵文化財の有無を確認するための試掘調査が必要である。令和6年度は以下のとおり75件の試掘調査を実施した。試掘調査により埋蔵文化財の存在が認められた場合は開発者側と保存について協議を行い、開発によって破壊を免れない埋蔵文化財については、遺跡の姿を後世に伝えることを目的とした緊急発掘調査を実施している。令和6年度は8件の発掘調査を行い、多くの遺構が検出され、遺物が出土している。

### 12-1 埋蔵文化財調査一覧

#### (1) 発掘調査件数の推移

年度	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	10年間の合計
件数	4	4	4	8	5	4	12	13	3	8	65件
前年度からの継続	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	—
合計	4	5	5	8	5	4	12	14	4	8	—

#### (2) 発掘調査一覧

	遺跡名	調査 回数	調査地番	原因	調査面積
			調査期間	調査主体	時代
1	川越城跡	49次	郭町二丁目1-7	個人住宅	388 m <sup>2</sup>
			令和6年6月4日～6月26日	教育委員会	近世
2	龍光遺跡	17次	大字上戸字龍光342-24	借家	221 m <sup>2</sup>
			令和6年6月24日～7月10日	遺跡調査会	中世
3	川越城跡	50次	郭町二丁目20-12・13	建売住宅	330 m <sup>2</sup>
			令和6年7月2日～7月16日	遺跡調査会	近世
4	川越城跡	51次	郭町二丁目23-6	個人住宅	155 m <sup>2</sup>
			令和6年7月3日～8月6日	教育委員会	近世
5	川越城跡	52次	郭町一丁目16-10	個人住宅	157 m <sup>2</sup>
			令和6年7月22日～7月24日	教育委員会	近世
6	西中原1号墳	2次	南大塚一丁目5-3	宅地造成	620 m <sup>2</sup>
			令和6年10月2日～12月26日	遺跡調査会	古墳
7	川越城跡	53次	郭町一丁目15-1	個人住宅	106 m <sup>2</sup>
			令和6年10月7日	教育委員会	近世
8	川越城跡	54次	郭町二丁目16-2	個人住宅	7 m <sup>2</sup>
			令和7年3月21日	教育委員会	近世

## (3) 試掘調査一覧

《結果欄について》

遺構なし…× 遺構あり…○ 本発掘調査実施…◎

	実施日	調査地番	調査面積 (㎡)	遺跡名	結果
1	4月11日	上戸138-3	271	天王遺跡	×
2	4月15日	下広谷606-6、607-2、614-1、 615-1、618-2、619-1	4,573	天神前遺跡	×
3	4月16日	古谷上4208-4	236	善仲寺館跡	×
4	4月22日	豊田町2-1-5	101	天屋坂遺跡	×
5	4月25日	寺尾713-9・12	133	田成遺跡	×
6	4月30日～5月2日	今福732-2・18・19	2,193	甲山遺跡	×
7	5月9日	寺尾91-8、94-16	120	寺尾貝塚	×
8	5月14日	笠幡1867-1、1868-2	417	笠丹草遺跡	×
9	5月15日～5月17日	砂990-1	2,712	漆谷遺跡	×
10	5月15日～5月17日	砂990-3	1,115	漆谷遺跡	×
11	5月17日	的場514	965	八幡前・若宮遺跡	×
12	5月21日	下広谷439-6・7	289	在家遺跡	×
13	5月22日	西小仙波1-14の一部	171	喜多院境内遺跡	×
14	5月23日	藤原町26-9外	734	藤原町遺跡	×
15	5月23日	古市場340-5	171	南久我原遺跡	×
16	5月24日	郭町2-23-6	157	川越城跡	◎
17	5月27日	豊田町3-6-2	498	山王脇遺跡	×
18	5月30日	上戸342-24の一部	221	龍光遺跡	◎
19	6月5日	富士見町15-9	188	浅間神社南遺跡	×
20	6月6日	下小坂620、618-3	2,498	大道端遺跡	○
21	6月10日	稻荷町8-10	380	藤原町遺跡	×
22	6月20日	郭町1-16-10	157	川越城跡	◎
23	6月21日	寺尾190-2、191-1	667	寺尾貝塚	×
24	6月27日	今泉510-8・12、511-2	207	南田遺跡	×
25	7月5日	大袋新田856-1	171	愛宕側遺跡	×
26	7月9日	吉田70-21、87-5	1,368	堂山遺跡	×
27	7月11日	上戸342-12	83	龍光遺跡	×
28	7月19日	南田島721-7	71	南田島遺跡	×
29	7月29日	小仙波町5-7-21	145	弁天西遺跡	×
30	7月31日	的場503-2	428	八幡前・若宮遺跡	×

	実施日	調査地番	調査面積 (㎡)	遺跡名	結果
31	8月2日	上戸新町 29-34・35	186	霞ヶ関遺跡	×
32	8月5日	的場 2459-1	115	豊年山遺跡	×
33	8月19日	上戸 174-2	164	天王遺跡	○
34	8月20日	郭町 1-15-1	106	川越城跡	◎
35	8月23日	藤間 341-1	1,904	藤原町遺跡	×
36	8月27日	宮下町 1-19-13	2,211	川越城跡	◎
37	8月28日	南大塚 1-8-6・42	283	中原古墳	○
38	9月9日	藤原町 23-12	625	藤原町遺跡	×
39	9月12日	寺尾 891-15	84	田成遺跡	×
40	9月13日	上戸 270-1・2の各一部	264	新田屋敷遺跡	×
41	9月17日	笠幡 1870-3・6	281	笠丹草遺跡	×
42	9月27日	寺尾 838-5の一部	171	田成遺跡	×
43	9月30日	寺尾 308-9、309-3・4	100	寺尾貝塚	×
44	10月2日	小中居 314-1・2、554-1・5	804	並木遺跡	×
45	10月3日	下広谷 183-3	393	宮前遺跡	×
46	10月11日	稻荷町 9-18~21	161	藤原町遺跡	×
47	11月5日~6日	下広谷 626-2、629、630、631-2・3	6,412	宮廻館跡	○
48	11月12日	笠幡 1468-1	1,116	関口田端遺跡	×
49	11月15日	豊田町 3-16-3	99	山王脇遺跡	×
50	12月3日	寺尾 375-3	200	寺尾貝塚	×
51	12月9日	的場 540-16	101	八幡前・若宮遺跡	×
52	12月18日	的場 2423-10の一部	873	豊後山遺跡	×
53	12月19日	笠幡 1269-1・17	335	尾崎神社遺跡	×
54	12月20日	寺尾 216-8	132	寺尾貝塚	×
55	12月23日	宮下町 1-17-36	76	川越城跡	○
56	1月8日	上戸 342-33・34	163	龍光遺跡	○
57	1月10日	郭町 2-16-2	96	川越城跡	◎
58	1月17日	古市場 332-3	147	南久我原遺跡	×
59	1月23日	的場 435-7	101	八幡前・若宮遺跡	×
60	1月24日	藤原町 16-4・5	782	藤原町遺跡	○
61	1月28日	古谷上 2023、2024-1・3・4	1,942	赤城遺跡	×
62	1月30日	小仙波町 4-12-15	216	小仙波4丁目遺跡	○
63	2月3日	寺尾 195-1	954	寺尾貝塚	×
64	2月6日	郭町 1-16-25	132	川越城跡	◎

	実施日	調査地番	調査面積 (㎡)	遺跡名	結果
65	2月10日	西小仙波町1-15-1	169	喜多院境内遺跡	×
66	2月12日～13日	中台2-9-2・3	6,735	大塚遺跡	◎
67	2月18日	広栄町21-2・3	432	山王脇遺跡	×
68	3月7日	かし野台1-6-4	169	原新田遺跡	×
69	3月12日	藤原町26-3	727	藤原町遺跡	×
70	3月14日	寺尾111-12、114-23	100	寺尾貝塚	×
71	3月17日	的場2458-1、259-2の各一部	161	豊年山遺跡	×
72	3月17日	的場595-3	195	西若宮遺跡	×
73	3月26日	下広谷445-1・6、446-2・7	917	在家遺跡	○
74	3月27日	藤間350-10・13・17	136	藤原町遺跡	×
75	3月28日	豊田町3-19-41、43	109	山王脇遺跡	×

## 13-2 試掘調査

### No. 1 天王遺跡 (19-49)

調査地番 上戸138-3

調査面積 271㎡

調査日時 4月11日

調査原因 共同住宅

調査結果 遺構なし



### No. 2 天神前遺跡 (19-234)

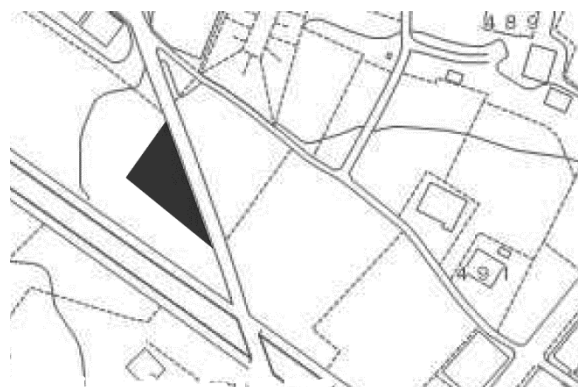
調査地番 下広谷606-6、607-2、614-1、615-1、618-2、619-1

調査面積 4,573㎡

調査日時 4月15日

調査原因 工場等新築・造成工事

調査結果 遺構なし



**No. 3 善仲寺館跡 (19-151)**

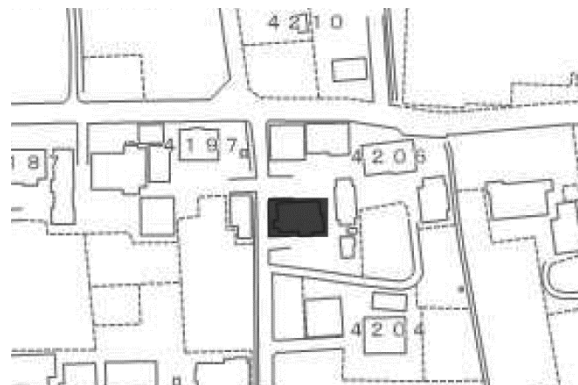
調査地番 古谷上 4208-4

調査面積 236 m<sup>2</sup>

調査日時 4月16日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



**No. 4 天屋坂遺跡 (19-157)**

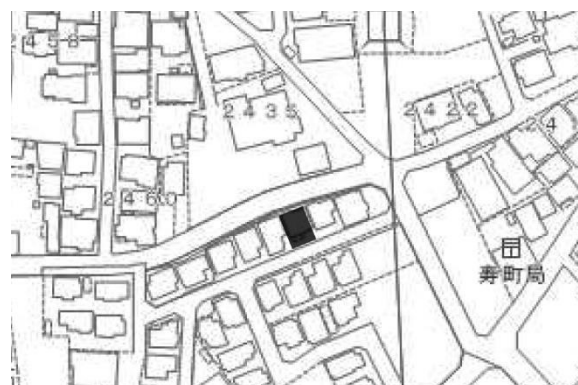
調査地番 豊田町 2-1-5

調査面積 101 m<sup>2</sup>

調査日時 4月22日

調査原因 建売住宅

調査結果 遺構なし



**No. 5 田成遺跡 (19-141)**

調査地番 寺尾 713-9・12

調査面積 133 m<sup>2</sup>

調査日時 4月25日

調査原因 分譲住宅

調査結果 遺構なし



**No. 6 甲山遺跡 (19-219)**

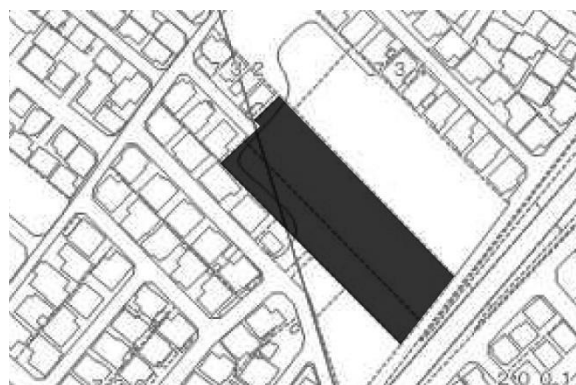
調査地番 今福 732-2・18・19

調査面積 2,193 m<sup>2</sup>

調査日時 4月30日～5月2日

調査原因 分譲住宅

調査結果 遺構なし



**No. 7 寺尾貝塚 (19-140)**

調査地番 寺尾 91-8、94-16

調査面積 120 m<sup>2</sup>

調査日時 5月9日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



**No. 8 笠丹草遺跡 (19-197)**

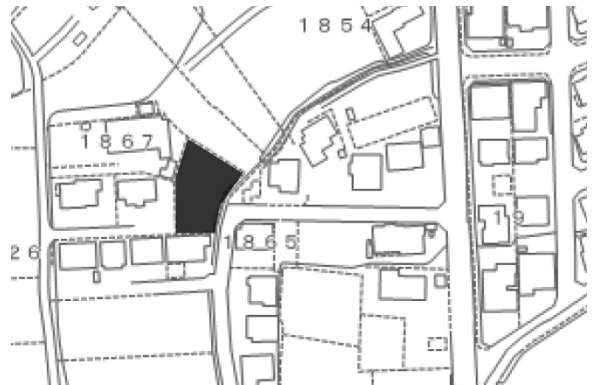
調査地番 笠幡 1867-1、1868-2

調査面積 417 m<sup>2</sup>

調査日時 5月14日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



**No. 9 漆谷遺跡 (19-136)**

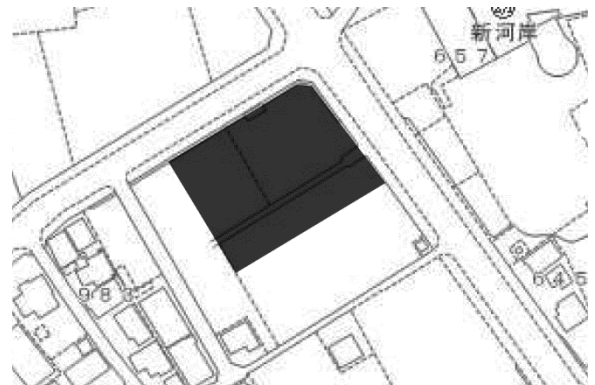
調査地番 砂 990-1

調査面積 2,712 m<sup>2</sup>

調査日時 5月15日～5月17日

調査原因 店舗建設

調査結果 遺構なし



**No. 10 漆谷遺跡 (19-136)**

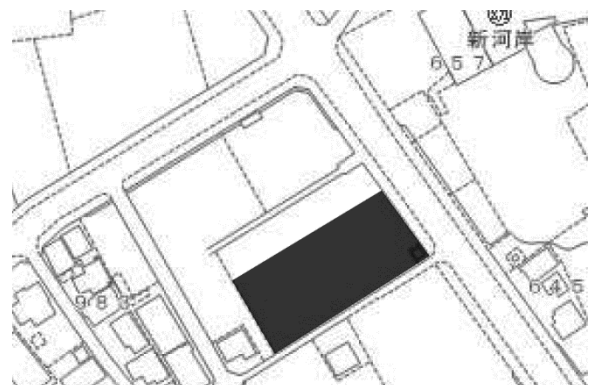
調査地番 砂 990-3

調査面積 1,115 m<sup>2</sup>

調査日時 5月15日～5月17日

調査原因 駐車場

調査結果 遺構なし



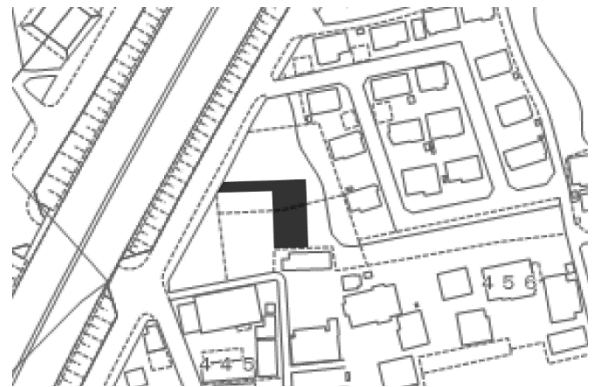
**No. 11 八幡前・若宮遺跡 (19-59)**

調査地番 的場 514  
調査面積 965 m<sup>2</sup>  
調査日時 5月17日  
調査原因 集合住宅  
調査結果 遺構なし



**No. 12 在家遺跡 (19-228)**

調査地番 下広谷 439-6・7  
調査面積 289 m<sup>2</sup>  
調査日時 5月21日  
調査原因 個人住宅  
調査結果 遺構なし



**No. 13 喜多院境内遺跡 (19-110)**

調査地番 西小仙波 1-14の一部  
調査面積 171 m<sup>2</sup>  
調査日時 5月22日  
調査原因 個人住宅  
調査結果 遺構なし



**No. 14 藤原町遺跡 (19-142)**

調査地番 藤原町 26-9 外  
調査面積 734 m<sup>2</sup>  
調査日時 5月23日  
調査原因 分譲住宅  
調査結果 遺構なし



**No. 15 南久我原遺跡 (19-322)**

調査地番 古市場 340-5

調査面積 171 m<sup>2</sup>

調査日時 5月23日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



**No. 16 川越城跡 (19-89)**

調査地番 郭町 2-23-6

調査面積 157 m<sup>2</sup>

調査日時 5月24日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構あり(近世・基礎5)

対 応 川越城跡第51次調査



**No. 17 山王脇遺跡 (19-156)**

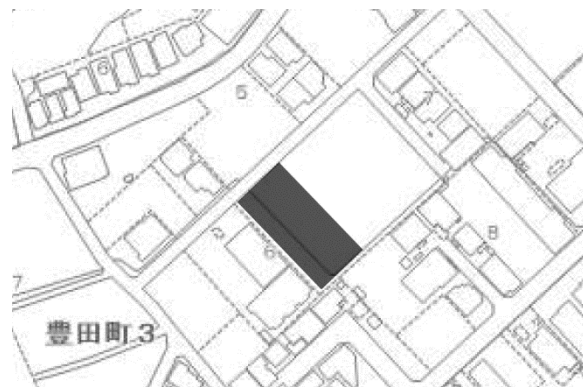
調査地番 豊田町 3-6-2

調査面積 498 m<sup>2</sup>

調査日時 5月27日

調査原因 共同住宅

調査結果 遺構なし



**No. 18 龍光遺跡 (19-47)**

調査地番 上戸 342-24 の一部

調査面積 221 m<sup>2</sup>

調査日時 5月30日

調査原因 借家建設

調査結果 遺構あり(中世・柱穴1、竪穴状遺構1)

対 応 龍光遺跡第17次調査



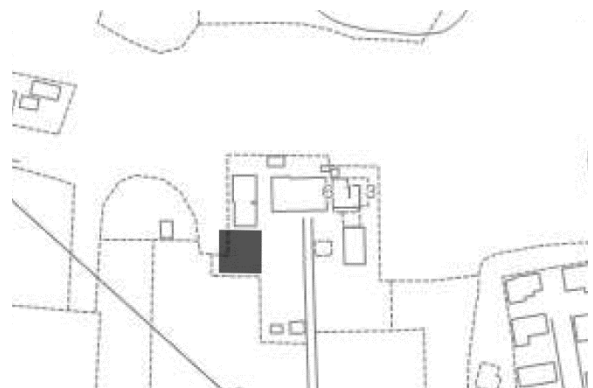
**No. 19 浅間神社南遺跡 (19-90)**

調査地番 富士見町 15-9  
調査面積 188 m<sup>2</sup>  
調査日時 6月5日  
調査原因 分譲住宅  
調査結果 遺構なし



**No. 20 大道端遺跡 (19-11)**

調査地番 下小坂 620、618-3  
調査面積 2,498 m<sup>2</sup>  
調査日時 6月6日  
調査原因 農業用倉庫  
調査結果 遺構あり(古代・溝1)  
対 応 現状保存



**No. 21 藤原町遺跡 (19-142)**

調査地番 稲荷町 8-10  
調査面積 380 m<sup>2</sup>  
調査日時 6月10日  
調査原因 分譲住宅  
調査結果 遺構なし



**No. 22 川越城跡(19-89)**

調査地番 郭町 1-16-10  
調査面積 157 m<sup>2</sup>  
調査日時 6月20日  
調査原因 個人住宅  
調査結果 遺構あり(近世・造成面)  
対 応 川越城跡第52次調査



**No. 23 寺尾貝塚 (19-140)**

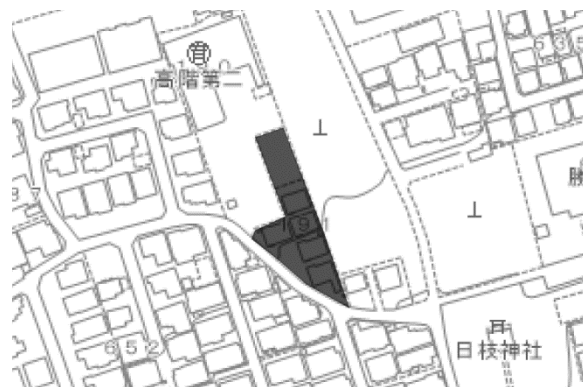
調査地番 寺尾 190- 2、191- 1

調査面積 667 m<sup>2</sup>

調査日時 6月21日

調査原因 分譲住宅

調査結果 遺構なし



**No. 24 南田遺跡 (19-320)**

調査地番 今泉 510- 8・12、511- 2

調査面積 207 m<sup>2</sup>

調査日時 6月27日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



**No. 25 愛宕側遺跡 (19-215)**

調査地番 大袋新田 856- 1

調査面積 171 m<sup>2</sup>

調査日時 7月5日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



**No. 26 堂山遺跡 (19-30)**

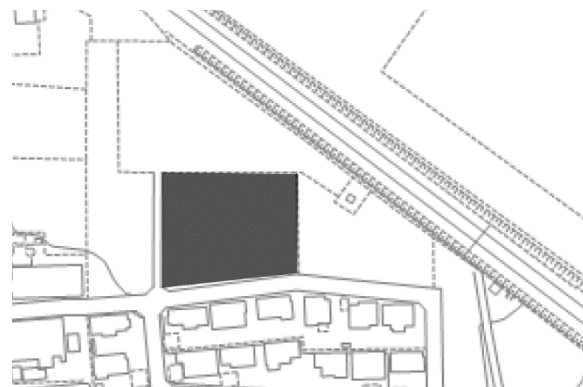
調査地番 吉田 70-21、87- 5

調査面積 1,368 m<sup>2</sup>

調査日時 7月9日

調査原因 分譲住宅

調査結果 遺構なし



**No. 27 龍光遺跡 (19-47)**

調査地番 上戸 342-12  
調査面積 83 m<sup>2</sup>  
調査日時 7月11日  
調査原因 個人住宅  
調査結果 遺構なし



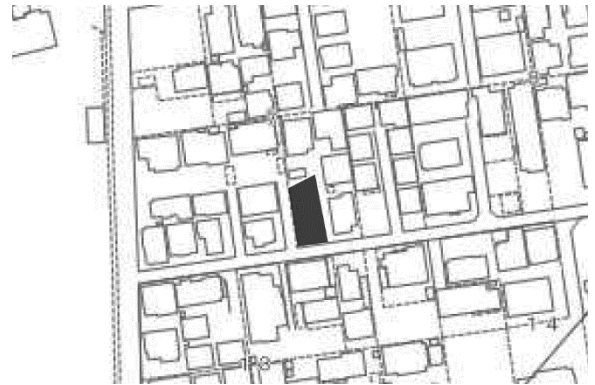
**No. 28 南田島遺跡 (19-322)**

調査地番 南田島 721-7  
調査面積 71 m<sup>2</sup>  
調査日時 7月19日  
調査原因 個人住宅  
調査結果 遺構なし



**No. 29 弁天西遺跡 (19-116)**

調査地番 小仙波町 5-7-21  
調査面積 145 m<sup>2</sup>  
調査日時 7月29日  
調査原因 個人住宅  
調査結果 遺構なし



**No. 30 八幡前・若宮遺跡 (19-59)**

調査地番 的場 503-2  
調査面積 428 m<sup>2</sup>  
調査日時 7月31日  
調査原因 個人住宅  
調査結果 遺構なし



**No. 31 霞ヶ関遺跡 (19-51)**

調査地番 上戸新町 29-34・35

調査面積 186 m<sup>2</sup>

調査日時 8月2日

調査原因 戸建住宅

調査結果 遺構なし



**No. 32 豊年山遺跡 (19-56)**

調査地番 的場 2459-1

調査面積 115 m<sup>2</sup>

調査日時 8月5日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



**No. 33 天王遺跡 (19-49)**

調査地番 上戸 174-2

調査面積 164 m<sup>2</sup>

調査日時 8月19日

調査原因 戸建住宅

調査結果 遺構あり(古代・竪穴建物1)

対応 現状保存



**No. 34 川越城跡 (19-89)**

調査地番 郭町 1-15-1

調査面積 106 m<sup>2</sup>

調査日時 8月20日

調査原因 個人住宅

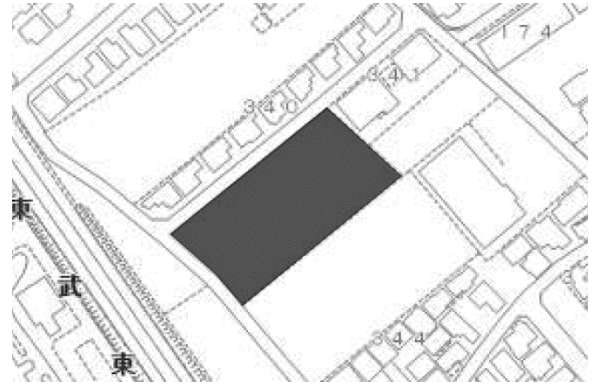
調査結果 遺構あり(近世・造成面)

対応 川越城跡第53次調査



No. 35 藤原町遺跡 (19-142)

調査地番 藤間 341-1  
調査面積 1,904 m<sup>2</sup>  
調査日時 8月23日  
調査原因 分譲住宅  
調査結果 遺構なし



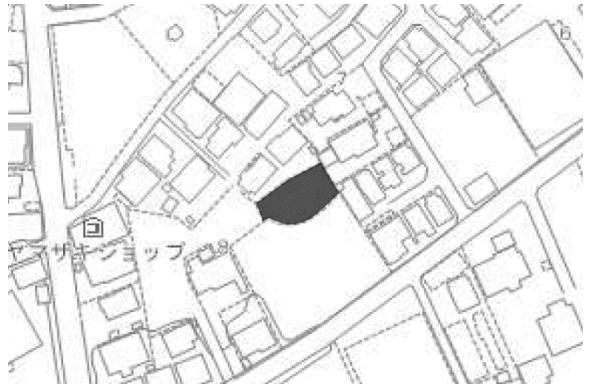
No. 36 川越城跡 (19-89)

調査地番 宮下町 1-19-13  
調査面積 2,211 m<sup>2</sup>  
調査日時 8月27日  
調査原因 みよしの支援センター改修等工事  
調査結果 遺構あり(近世・堀1)  
対 応 現状保存



No. 37 中原古墳 (19-71)

調査地番 南大塚 1-8-6・42  
調査面積 283 m<sup>2</sup>  
調査日時 8月28日  
調査原因 伐採・伐根  
調査結果 遺構あり(古墳・墳丘)  
対 応 現状保存



No. 38 藤原町遺跡 (19-142)

調査地番 藤原町 23-12  
調査面積 625 m<sup>2</sup>  
調査日時 9月9日  
調査原因 分譲住宅  
調査結果 遺構なし



**No. 39 田成遺跡 (19-141)**

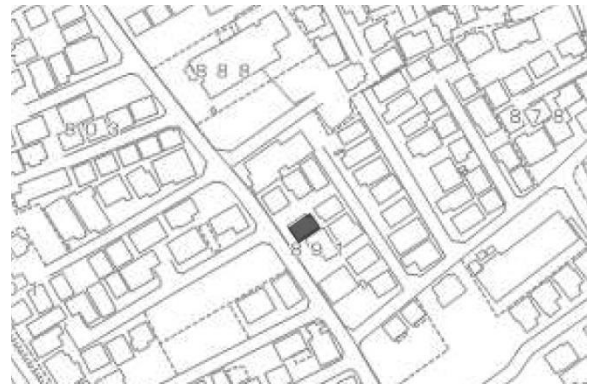
調査地番 寺尾 891-15

調査面積 84 m<sup>2</sup>

調査日時 9月12日

調査原因 戸建住宅

調査結果 遺構なし



**No. 40 新田屋敷遺跡 (19-48)**

調査地番 上戸 270-1・2の各一部

調査面積 264 m<sup>2</sup>

調査日時 9月13日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



**No. 41 笠丹草遺跡 (19-197)**

調査地番 笠幡 1870-3・6

調査面積 281 m<sup>2</sup>

調査日時 9月17日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



**No. 42 田成遺跡 (19-141)**

調査地番 寺尾 838-5の一部

調査面積 171 m<sup>2</sup>

調査日時 9月27日

調査原因 戸建住宅

調査結果 遺構なし



**No. 43 寺尾貝塚 (19-140)**

調査地番 寺尾 308- 9、309- 3・4

調査面積 100 m<sup>2</sup>

調査日時 9月30日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



**No. 44 並木遺跡 (19-326)**

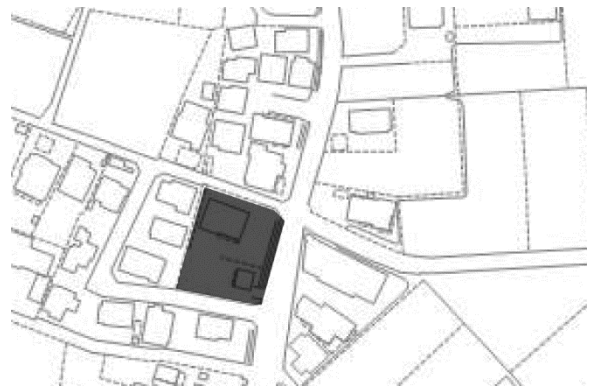
調査地番 小中居 314-1・2、554-1・5

調査面積 804 m<sup>2</sup>

調査日時 10月2日

調査原因 建売住

調査結果 遺構なし



**No. 45 宮前遺跡 (19-230)**

調査地番 下広谷 183-3

調査面積 393 m<sup>2</sup>

調査日時 10月3日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



**No. 46 藤原町遺跡 (19-142)**

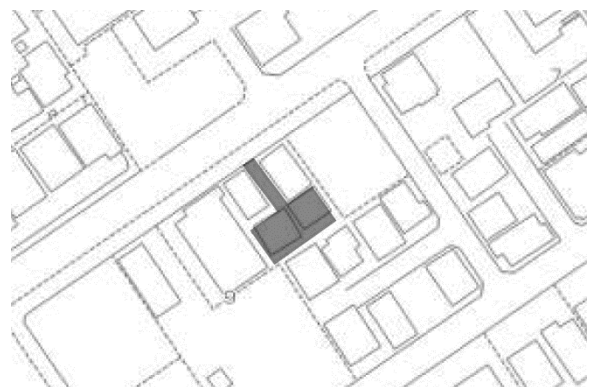
調査地番 稲荷町 9-18~21

調査面積 161 m<sup>2</sup>

調査日時 10月11日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



**No. 47 宮廻館跡 (19-3)**

調査地番 下広谷 626-2、629、630、631-2・3  
調査面積 6,412 m<sup>2</sup>  
調査日時 11月5日～6日  
調査原因 資材置場  
調査結果 遺構あり(時期不明・竪穴建物3、土坑2、溝2)  
対 応 現状保存



**No. 48 関口田端遺跡 (19-179)**

調査地番 笠幡 1468-1  
調査面積 1,116 m<sup>2</sup>  
調査日時 11月12日  
調査原因 分譲住宅  
調査結果 遺構なし



**No. 49 山王脇遺跡 (19-156)**

調査地番 豊田町 3-16-3  
調査面積 99 m<sup>2</sup>  
調査日時 11月15日  
調査原因 建売住宅  
調査結果 遺構なし



**No. 50 寺尾貝塚 (19-140)**

調査地番 寺尾 375-3  
調査面積 200 m<sup>2</sup>  
調査日時 12月3日  
調査原因 戸建住宅  
調査結果 遺構なし



**No. 51 八幡前・若宮遺跡 (19-59)**

調査地番 的場 540-16  
調査面積 101 m<sup>2</sup>  
調査日時 12月9日  
調査原因 個人住宅  
調査結果 遺構なし



**No. 52 豊後山遺跡 (19-305)**

調査地番 的場 2423-10の一部  
調査面積 873 m<sup>2</sup>  
調査日時 12月18日  
調査原因 分譲住宅  
調査結果 遺構なし



**No. 53 尾崎神社遺跡 (19-36)**

調査地番 笠幡 1269-1・17  
調査面積 335 m<sup>2</sup>  
調査日時 12月19日  
調査原因 個人住宅  
調査結果 遺構なし



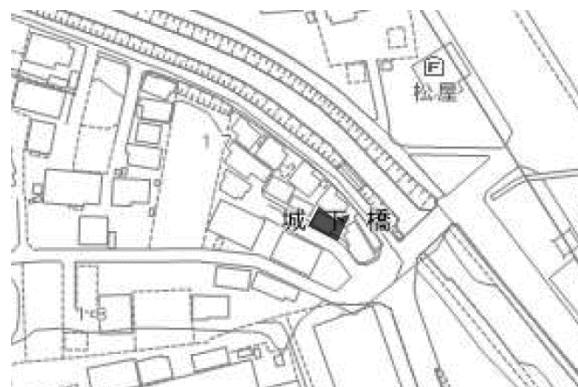
**No. 54 寺尾貝塚 (19-140)**

調査地番 寺尾 216-8  
調査面積 132 m<sup>2</sup>  
調査日時 12月20日  
調査原因 戸建住宅  
調査結果 遺構なし



**No. 55 川越城跡 (19-89)**

調査地番 宮下町 1-17-36  
調査面積 76 m<sup>2</sup>  
調査日時 12月23日  
調査原因 個人住宅  
調査結果 遺構あり(近世・堀1)  
対 応 現状保存



**No. 56 龍光遺跡 (19-47)**

調査地番 上戸 342-33・34  
調査面積 163 m<sup>2</sup>  
調査日時 1月8日  
調査原因 個人住宅  
調査結果 遺構あり(古代：井戸1、古代～中世：溝1)  
対 応 現状保存



**No. 57 川越城跡 (19-89)**

調査地番 郭町 2-16-2  
調査面積 96 m<sup>2</sup>  
調査日時 1月10日  
調査原因 個人住宅  
調査結果 遺構あり(近世・堀1)  
対 応 川越城跡第54次調査



**No. 58 南久我原遺跡 (19-322)**

調査地番 古市場 332-3  
調査面積 147 m<sup>2</sup>  
調査日時 1月17日  
調査原因 個人住宅  
調査結果 遺構なし



**No. 59 八幡前・若宮遺跡 (19-59)**

調査地番 的場 435-7  
調査面積 101 m<sup>2</sup>  
調査日時 1月23日  
調査原因 個人住宅  
調査結果 遺構なし



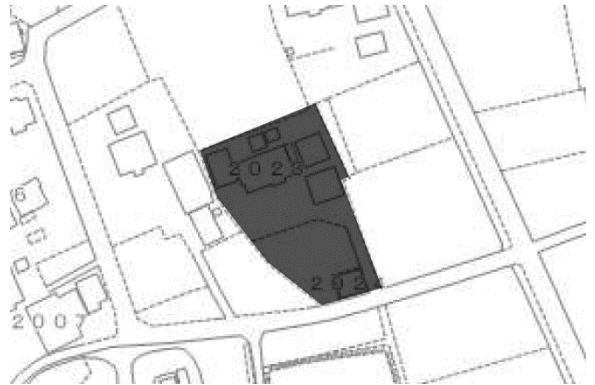
**No. 60 藤原町遺跡 (19-142)**

調査地番 藤原町 16-4・5  
調査面積 782 m<sup>2</sup>  
調査日時 1月24日  
調査原因 個人住宅  
調査結果 遺構あり(縄文・竪穴建物1)  
対 応 現状保存



**No. 61 赤城遺跡 (19-265)**

調査地番 古谷上 2023、2024-1・3・4  
調査面積 1,942 m<sup>2</sup>  
調査日時 1月28日  
調査原因 開発造成  
調査結果 遺構なし



**No. 62 小仙波4丁目遺跡 (19-115)**

調査地番 小仙波町 4-12-15  
調査面積 216 m<sup>2</sup>  
調査日時 1月30日  
調査原因 個人住宅  
調査結果 遺構あり(古墳・竪穴建物1、溝1、ピット)  
対 応 現状保存



**No. 63 寺尾貝塚 (19-140)**

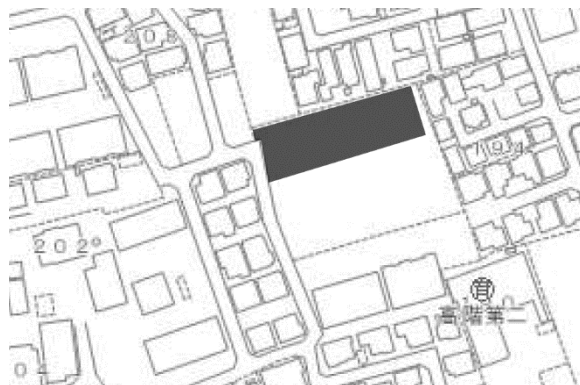
調査地番 寺尾 195- 1

調査面積 954 m<sup>2</sup>

調査日時 2月3日

調査原因 集合住宅

調査結果 遺構なし



**No. 64 川越城跡 (19-89)**

調査地番 郭町 1-16-25

調査面積 132 m<sup>2</sup>

調査日時 2月6日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構あり(近世・造成面)

対 応 川越城跡第55次調査



**No. 65 喜多院境内遺跡 (19-110)**

調査地番 西小仙波町 1-15- 1

調査面積 169 m<sup>2</sup>

調査日時 2月10日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



**No. 66 大塚遺跡 (19-132)**

調査地番 中台 2-9-2・3

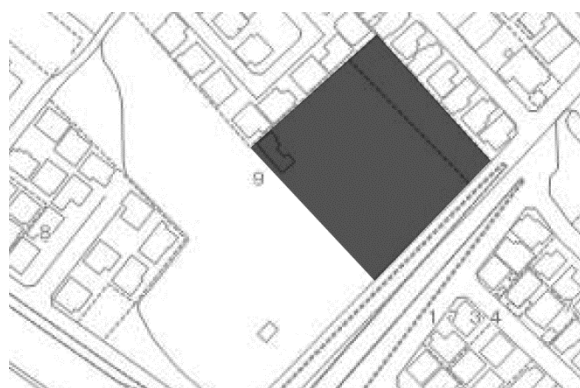
調査面積 6,735 m<sup>2</sup>

調査日時 2月12日～13日

調査原因 分譲住宅

調査結果 遺構あり(縄文・竪穴建物4、土坑1、炉穴1)

対 応 大塚遺跡第5・6次調査



**No. 67 山王脇遺跡 (19-156)**

調査地番 広栄町 21-2・3

調査面積 432 m<sup>2</sup>

調査日時 2月18日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



**No. 68 原新田遺跡 (19-202)**

調査地番 かし野台 1-6-4

調査面積 169 m<sup>2</sup>

調査日時 3月7日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



**No. 69 藤原町遺跡 (19-142)**

調査地番 藤原町 26-3

調査面積 727 m<sup>2</sup>

調査日時 3月12日

調査原因 福祉施設

調査結果 遺構なし



**No. 70 寺尾貝塚 (19-140)**

調査地番 寺尾 111-12、114-23

調査面積 100 m<sup>2</sup>

調査日時 3月14日

調査原因 分譲住宅

調査結果 遺構なし



**No. 71 豊年山遺跡 (19-56)**

調査地番 的場 2458-1、259-2 の各一部

調査面積 161 m<sup>2</sup>

調査日時 3月17日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



**No. 72 西若宮遺跡 (19-58)**

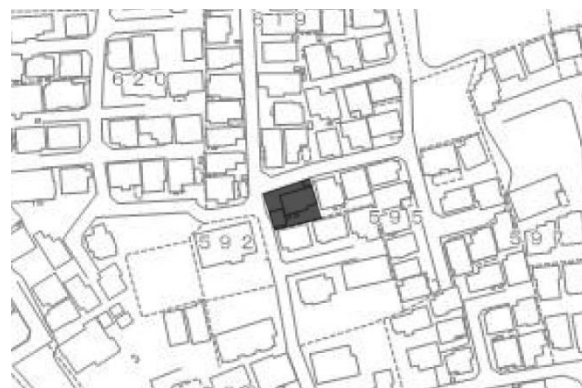
調査地番 的場 595-3

調査面積 195 m<sup>2</sup>

調査日時 3月17日

調査原因 建売住宅

調査結果 遺構なし



**No. 73 在家遺跡 (19-228)**

調査地番 下広谷 445-1・6、446-2・7

調査面積 917 m<sup>2</sup>

調査日時 3月26日

調査原因 分譲住宅

調査結果 遺構あり(中世・堀1、竪穴状遺構1、土坑1)

対応 現状保存



**No. 74 藤原町遺跡 (19-142)**

調査地番 藤間 350-10・13・17

調査面積 136 m<sup>2</sup>

調査日時 3月27日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No. 75 山王脇遺跡 (19-156)

調査地番 豊田町3-19-41、43

調査面積 109 m<sup>2</sup>

調査日時 3月28日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



## 12-3 教育委員会の発掘調査 5件

### (1) 川越城跡第49次調査

調査地番 川越市郭町二丁目1-7  
調査期間 令和6年6月4日～同年6月26日  
調査面積 387.63㎡  
調査原因 個人住宅  
通知番号 教文発第184号  
令和6年5月23日



川越城跡は武蔵野台地の最北端に立地する。慶応3年(1867)頃の川越城を描いたとされる絵図によると、当該地点は南大手門の南側に位置する堀と土塁、そして道に位置し、それらに関連する遺構が検出される可能性が想定された。

本調査では建物の建築範囲で調査を実施した。その結果、調査区内で近世と考えられる造成土が確認され、さらに敷地内南東側では黒褐色土の埋土が堆積した溝状遺構がこの造成土中から検出された。ただし、調査区の壁が非常に弱く、崩落の危険もあったために溝状遺構の掘削は危険と判断し、プランの確認のみに留めた。溝状遺構以外では調査区西側では近世の所産と思われる土坑も見つかった。

今回見つかった溝状遺構が絵図に描かれた堀かどうかは調査で明らかにできなかったが、周辺での今後の調査の進展が望まれる。



溝状遺構検出状況(北西から)



土坑断面(南から)



土坑完掘(南から)

## (2) 川越城跡第 51 次調査

調査地番 川越市郭町二丁目 23-6  
調査期間 令和 6 年 7 月 3 日～同年 8 月 6 日  
調査面積 155 m<sup>2</sup>  
調査原因 個人住宅  
通知番号 川教文発第 331 号  
令和 6 年 6 月 28 日



調査対象地は、慶応 3 年頃の川越城を描いたとされる絵図と、現況の町割りととの照合から江戸時代の川越城内田曲輪に位置し、明治 20 年の絵図によると米蔵があったとされる場所にあたる。本調査ではこの蔵と推測される建物の基礎遺構を確認した。



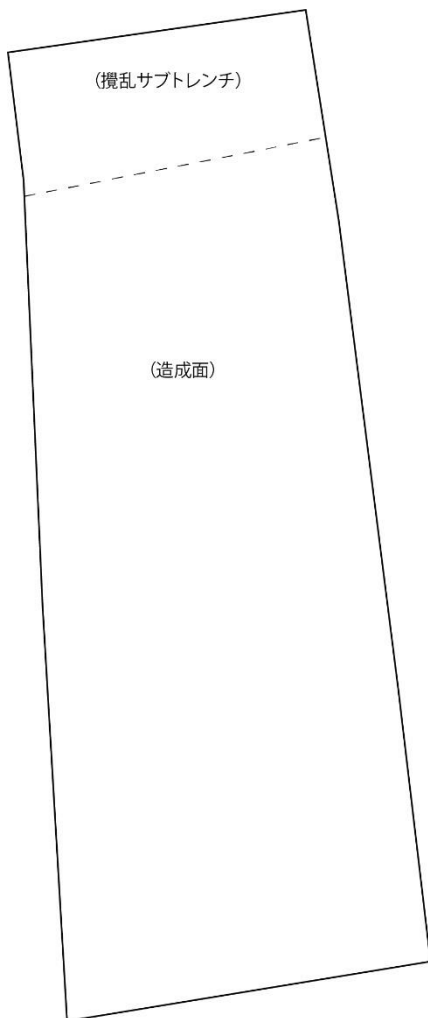
川越城跡第 51 次調査検出 蔵の基礎遺構検出状況

### (3) 川越城跡第 52 次調査

調査地番 川越市郭町一丁目 16-10  
調査期間 令和 6 年 7 月 22 日～同年 7 月 24 日  
調査面積 157 m<sup>2</sup>  
調査原因 個人住宅  
通知番号 川教文発第 331 号  
令和 6 年 6 月 28 日



調査対象地は、慶応 3 年頃の川越城を描いたとされる絵図と、現況の町割りと照合から江戸時代の川越城中曲輪に位置し、郡代所とされる建物の南側の平場に位置する。本調査では中曲輪の造成面を確認した。



調査区全景（北から）

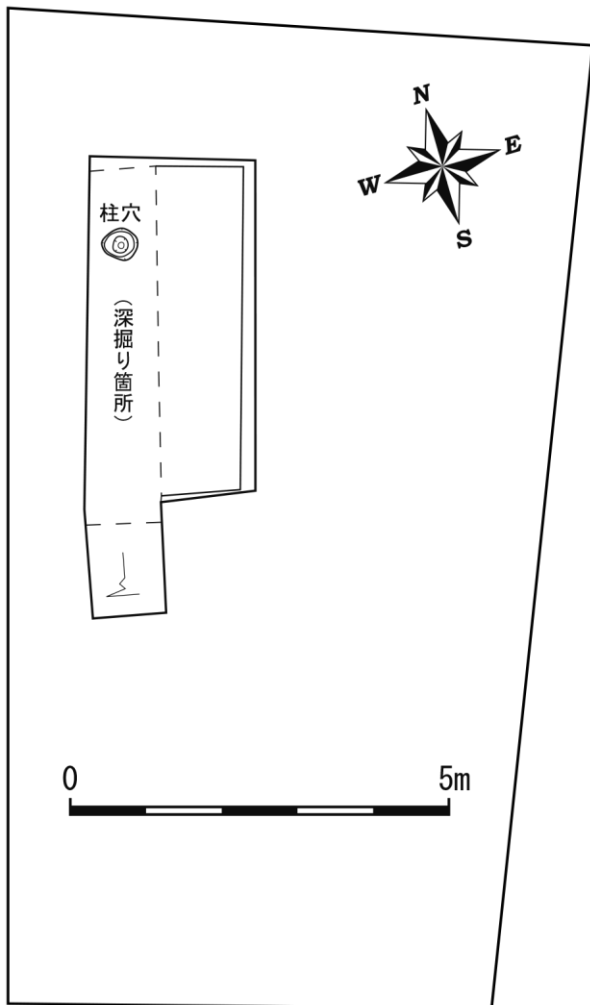
川越城跡第 52 次調査全体図

#### (4) 川越城跡第 53 次調査

調査地番 川越市郭町一丁目 15-1  
調査期間 令和 6 年 10 月 7 日  
調査面積 106 m<sup>2</sup>  
調査原因 個人住宅  
通知番号 川教文発第 331 号  
令和 6 年 6 月 28 日



調査対象地は、慶応 3 年頃の川越城を描いたとされる絵図と、現況の町割りとの照合から江戸時代の川越城中曲輪に位置し、郡代所とされる建物の南側の平場に位置する。本調査では中曲輪の造成面と、時期不明の柱穴を確認した。



川越城跡第 53 次調査全体図



調査区全景 (南から)

## (5) 川越城跡第 54 次調査

調査地番 川越市郭町二丁目 16-2  
調査期間 令和 7 年 3 月 21 日  
調査面積 7 m<sup>2</sup>  
調査原因 個人住宅  
通知番号 川教文発第 331 号  
令和 6 年 6 月 28 日



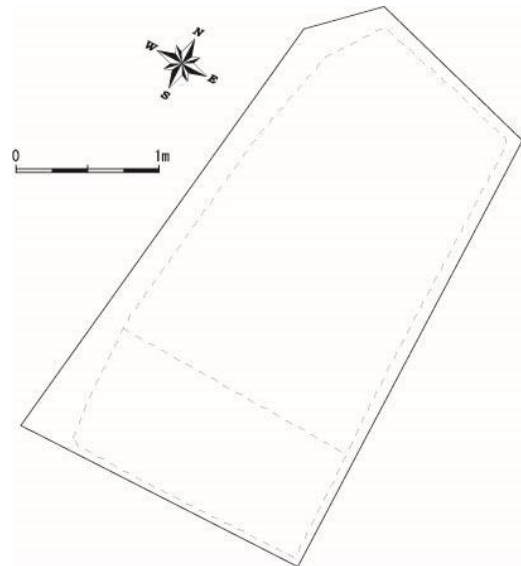
調査対象地は、慶応 3 年頃の川越城を描いたとされる絵図と、現況の町割りとの照合から江戸時代の川越城本丸南側、本丸の馬場と帯状の田曲輪に挟まれた堀の上に位置している。本調査ではこの堀の覆土を調査し、堀底の一部を検出した。堀の覆土中層からは大量の瓦が出土している。



堀底検出状況（北東から）



堀出土の陶磁器



川越城跡第 54 次調査全体図(1/40)



堀出土の軒丸瓦

## 12-4 遺跡調査会の発掘調査

3件

### (1) 龍光遺跡 (第17次調査)

調査地番	川越市上戸字龍光 342-24
調査期間	令和6年6月24日～同年7月10日
調査面積	221 m <sup>2</sup>
調査原因	借家建設
届出番号	川遺文発第8号
	令和6年9月12日



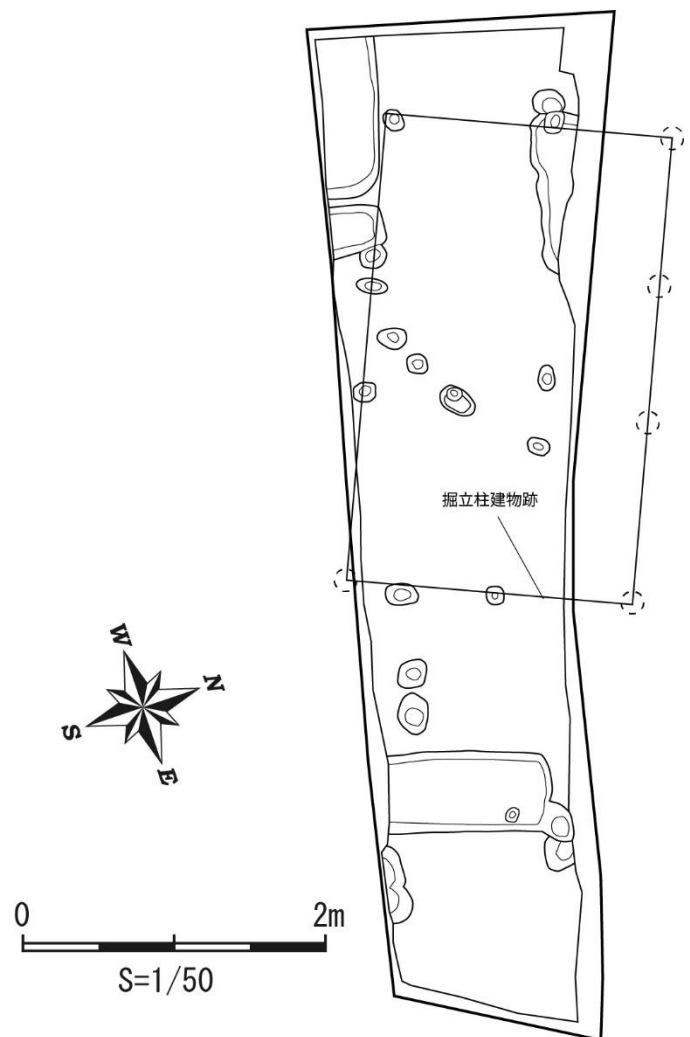
龍光遺跡は入間台地の南東端、飯能台の先端付近に位置する遺跡である。周辺には国指定史跡河越館跡や新田屋敷遺跡、日枝神社遺跡などが隣接し、龍光遺跡の南側には入間郡家があったとされている霞ヶ関遺跡や天王遺跡、山王久保遺跡がひろがる。

今回の第17次調査では、中世（戦国時代頃）と思われる掘立柱建物1棟、時期がはっきりしない土坑5基、ピット16基を検出した。掘立柱建物は一部が調査範囲の外にも展開するため、正確な規模は不明だが、東西2間・南北3間の、東西に長い建物と思われる。出土遺物は多くないが、土坑・ピットより平安時代の須恵器坏や、中世のかわらけの破片が出土している。

龍光遺跡の調査成果について、遺跡の立地や周辺遺跡の性格を考慮すると、平安時代頃の入間郡家周辺に住んでいた人々の生活の痕跡と、戦国時代に河越館跡に置かれた戦のための陣所（上戸陣）に関する掘立柱建物がこの場所に存在したと考えられる。



調査区全景（東から）



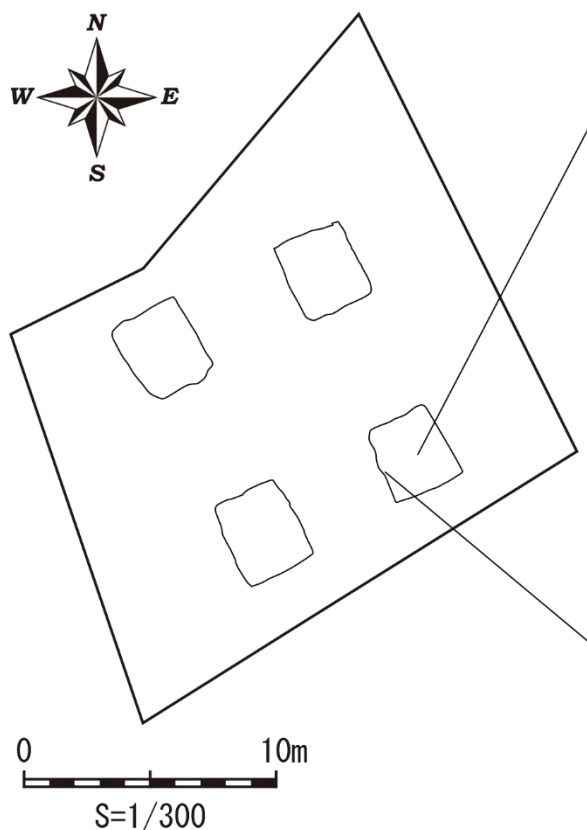
龍光遺跡第17次調査全体図

## (2) 川越城跡 (第 50 次調査)

調査地番 川越市郭町二丁目 20-12・13  
調査期間 令和 6 年 7 月 2 日～同年 7 月 16 日  
調査面積 330 m<sup>2</sup>  
調査原因 建売住宅  
届出番号 川遺文発第 8 号  
令和 6 年 9 月 12 日



建売住宅建設に伴う地盤改良工事に先立ち、埋蔵文化財の調査を行った。絵図等によると、当該地には、川越城跡の田丸南側の内堀があったと想定される場所である。調査の結果、内堀と思われる遺構が検出され、その掘り込みの底は検出できなかったものの、少なくとも現地表面から 2.5m 以上に達することが判明した。また、堀の埋土からは戦前の昭和時代の遺物などが出土し、江戸時代以降も内堀は埋まりきらずに人々が廃棄物を投棄するなど利用されていたことも明らかとなりました。



川越城跡第 50 次調査全体図



トレンチ掘削状況 (北西から)



ゲタ出土状況 (北東から)

### (3) 西中原 1 号墳第 2 次調査

調査地番 川越市南大塚一丁目 5 - 3  
調査期間 令和 6 年 10 月 2 日～令和 6 年 12 月 26 日  
調査面積 620 m<sup>2</sup>  
調査原因 宅地造成  
届出番号 川遺文発第 8 号  
令和 6 年 9 月 12 日



西中原 1 号墳は南大塚古墳群を構成する 1 基である。南大塚古墳群は入間川中流域右岸、広い沖積低地を臨む武蔵野台地西端部に 2.5km にわたり分布し、5 世紀初めから 7 世紀にかけて築造された 27 基の古墳群で構成される。それらの古墳の多くは直径 10-30m の円墳だが、6 世紀中頃には墳長 40m の前方後円墳である南大塚 4 号墳、7 世紀初めには直径 43m の円墳である山王塚西古墳、7 世紀後半には巨大な上円下方墳である山王塚古墳が造られ、これを最後に南大塚古墳群での古墳の造営は停止する。

本調査の結果、調査地北側と南側に古墳の周りを廻る堀状の遺構である周溝、墳丘の中からは、横穴式石室を検出した。

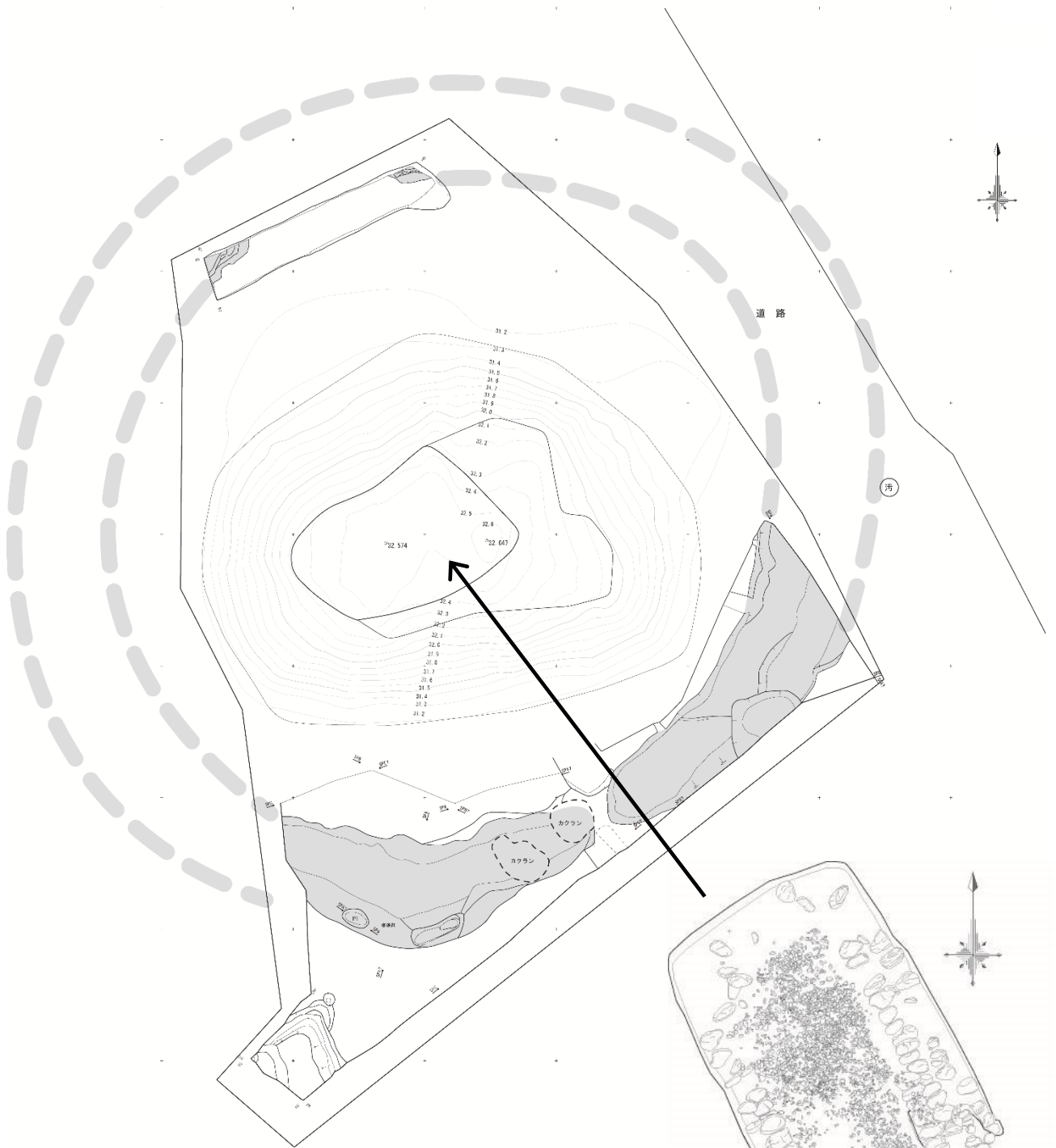
周溝は直径おおよそ 30m、溝の幅は 2～4 m であり、土橋も確認された。横穴式石室は全長約 6.2m、幅約 3m の長方形を呈する。北側の一部で、中世以降に盗掘された痕跡があるものの、非常に残りが良い。石室の壁は石を積んで作られており、石室の床面には小石が数多く敷き詰められていた。また、この床面からは 2 層の小石の層が確認された。このことから、この石室は二度使用されたことが推測される。二度目の埋葬時に、一度目の副葬品が片付けられてしまったこと、中世以降に盗掘にあったことから、石室内に副葬品はほとんど残されていなかった。しかし、石室の床面に敷き詰められた小石の隙間からは勾玉、切子玉、管玉、棗玉（なつめだま）など、玉類が複数出土した。勾玉は山王塚西古墳で出土した勾玉とよく似た形をしている。また、緑色をした勾玉と切子玉は、出雲産の碧玉を使って作られたものと思われる、南大塚古墳群では珍しい出土例である。他にも、今回の調査の中で、盗掘の際に落としたと思われる鉄鏃や土器の破片が周溝等から出土している。これらの遺物から、西中原 1 号墳は 7 世紀前半に築造された古墳と考えられる。



石室の調査風景



勾玉・切子玉・管玉



西中原1号墳墳丘平面図 (1/200)

西中原1号墳  
横穴式石室 (1/60)

## 13 伝統的建造物群保存地区保存整備事業

蔵造りと時の鐘に代表される町並みは川越のシンボルゾーンであり、かけがえのない文化遺産である。蔵造り町家以外にも各時代を代表する多様な建築様式の建造物が伝えられており、我が国の都市建築の発展をうかがわせる貴重な町並みである。

### 13-1 伝統的建造物群保存地区制度

「伝統的建造物群保存地区制度」とは、失われゆく歴史的な町並みを大切に後世に伝えていくための文化財制度で、昭和50年の文化財保護法の改正により創設されたものである。

「伝統的建造物群」とは、周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群で価値が高いものをいい、またこれと一体をなして価値を形成している環境を保存するための地区を「伝統的建造物群保存地区」という。

伝統的建造物群保存地区で我が国にとって価値が特に高いものは、「重要伝統的建造物群保存地区」として文部科学大臣に選定される。



### 13-2 地区概要

種別	重要伝統的建造物群保存地区
名称	川越市川越伝統的建造物群保存地区
所在地	埼玉県川越市幸町の全部、元町1丁目、元町2丁目及び仲町の各一部
面積	約 7.8ha
条例制定年月日	平成10年6月23日（条例第19号）
都市計画決定年月日	平成11年4月9日
保存計画決定年月日	平成11年4月9日
選定年月日	平成11年12月1日 (文部省告示第197号)
選定理由	重要伝統的建造物群保存地区選定基準 「(1) 伝統的建造物群が全体として意匠的に優秀なもの」による。



■川越市川越伝統的建造物群保存地区の範囲

### 13-3 地区の特性

川越の伝統的な町並みは、間口が狭く奥行きが長い敷地割のため、表は軒を連ねながらも奥には中庭を取り、採光や通風に対する工夫がみられるなど、商業地としての賑わいの演出と快適な住環境を両立させる知恵が活かされている。伝統的建造物群の基調をなす「蔵造り町家」は、明治26年の大火を契機として生まれたものである。まちの復興にあたり川越商人は、舟運により交流のあった江戸に多く建てられていた防火建築の土蔵造りを採用したと言われている。

町並みを構成する建造物としては、蔵造り町家群が最も特徴的であるが、真壁造り町家、大正昭和初期の洋風町家も分布する。また、町家以外の伝統的建造物には和風住宅、洋風住宅、並びに埼玉りそな銀行旧川越支店（旧第八十五銀行本店本館）等の近代洋風建築、寺社、時の鐘等の多様な建築様式の建造物が伝えられており、我が国の都市建築の発展をうかがわせる貴重な町並みである。

### 13-4 令和6年度の主な事業の概要

#### (1) 保存事業

伝統的建造物の修理5件、応急修理4件、景観事業1件、合計10件の保存事業に補助金を交付した。

#### (2) 保存対策関連調査等

関口家住宅の損傷調査及び傾倒調査、耐震調査（簡易）を行い、修理方針を策定した。

元町稲荷神社の実測調査及び損傷調査、傾倒調査及び耐震調査（簡易）を行い、修理方針を策定した。

#### (3) 保存活動事業

川越町並み委員会が行う、伝建地区の保存活動事業に補助金150,000円を交付した。

### 13-5 現状変更行為件数

建築物	新築	増築	改築	移転	除却	修繕	模様替え	色彩変更	その他	小計
		1	1	0	0	3	12	0	4	9
工作物	新築	増築	改築	移転	除却	修繕	模様替え	色彩変更	その他	小計
		1	2	1	0	4	3	1	1	0
土地の形質の変更										0
木竹の伐採										3
土石の類の採取										0
その他（看板設置・修繕等）										27
合 計										70

（一つの許可申請で複数の行為内容を申請している場合があるため、許可件数としては49件）

## 13-6 保存事業

### (1) 保存事業補助金交付額

伝統的建造物の修理5件、応急修理4件、景観事業1件、合計10件の保存事業に、補助金合計28,749,000円を交付した。

### (2) 保存事業の内容

事業種別	対象物件		事業内容
修 理	①	中島家住宅主屋	建築当初の下見板張りへの外壁の復原。その他、屋根瓦の葺き直し、アルミ建具から木製建具への復原、構造補強等。
	②	元町稲荷神社本殿	屋根の破損瓦の取り換え。影盛及び外壁も修繕。
	③	出窪家住宅主屋	腐朽が進んでいた屋根の破風板の修理。樋の交換。
	④	山崎家住宅袖蔵、住居棟及び一番蔵	損傷した外壁及び屋根の漆喰仕上げによる修繕。
	⑤	山屋シュロの間及び渡廊下	強風により剥がれた板金屋根のガルバリウム鋼板による葺き替え。
応急修理	⑥	山崎家住宅袖蔵漆喰壁等	雨漏りにより著しく損傷した外壁の黒漆喰磨き仕上げによる塗り替え。雨漏りの原因である樋の作り替え。
	⑦	滝島家住宅住居棟下屋	雨漏りにより損傷した下屋の修繕。
	⑧	篠崎家住宅主屋雨戸及び硝子障子	開ける際に鴨居から外れるようになってしまった雨戸の修繕。開閉できなくなった硝子障子の修繕。
	⑨	津久井家住宅主屋屋根	落下の危険性があるケラバ漆喰の撤去。残存漆喰の切り口補強。雨水の侵入防止のための既存瓦下部の切り込み加工。
景 観	⑩	勝冶家板塀	歴史的風致と調和した檜板塀の新築。

修理事業

①中島家住宅主屋



【修理前】



【修理後】

②元町稲荷神社本殿



【修理前】



【修理後】

③出窪家住宅主屋



【修理前】



【修理後】

④山崎家住宅袖蔵、住居棟及び一番蔵



【修理前】



【修理後】

⑤山屋シュロの間及び渡廊下



【修理前】



【修理後】

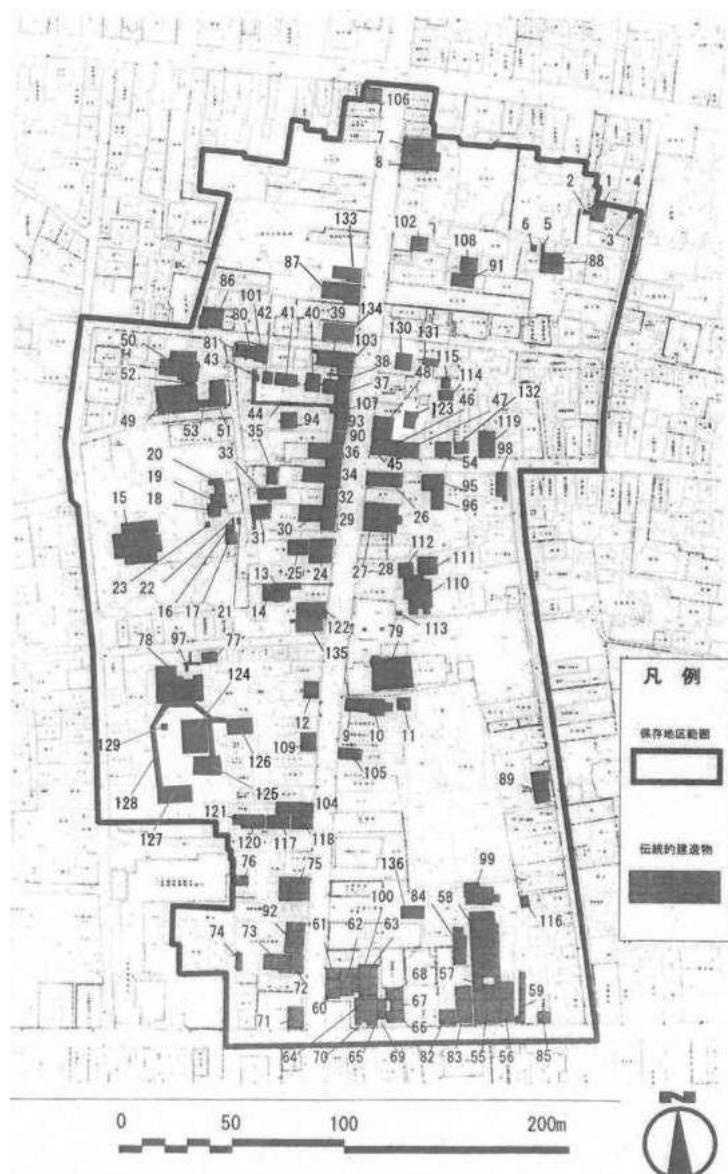
## 13-7 保存活動事業

川越町並み委員会が行う、伝建地区の保存活動事業に対して、150,000 円の補助金を交付した。

## 13-8 伝統的建造物の特定状況

令和6年度の追加特定はなし。

伝統的建造物の分布（令和2年12月22日変更告示による）（伝統的建造物 計136件）



## 13-9 防災訓練支援

伝建地区とその周辺には、4箇年継続の特殊防災事業（平成14年度から平成17年度まで）により、防災設備（防災井戸1基、雨水利用防災井戸1基、簡易型屋外消火栓22基、埋設式簡易型屋外消火栓7基、防火水槽（40t：1基／60t：7基））が整備されている。

この防災設備を使用し、定期的に自治会等の主催による防災訓練を実施している。

### 第1回

1. 日 時 令和6年8月28日（水）9時～10時
2. 会 場 川越まつり会館視聴覚室・駐車場
3. 主 催 幸町自治会、元町1丁目町内会、元町2丁目自治会、仲町自治会、川越一番街商業協同組合、川越菓子屋横丁会、鐘つき堂商店会、元町一丁目商和会、川越町並み委員会、大正浪漫夢通り商店街振興組合
4. 参加者 39名
5. 内 容 ①簡易型屋外消火栓操作訓練  
②水消火器操作訓練  
③煙ハウス体験  
④防災DVDの上映（希望者のみ）

### 第2回

1. 日 時 令和7年3月12日（水）9時～10時
2. 会 場 川越まつり会館視聴覚室
3. 主 催 幸町自治会、元町1丁目町内会、元町2丁目自治会、仲町自治会、川越一番街商業協同組合、川越菓子屋横丁会、鐘つき堂商店会、はつかり商店街、川越町並み委員会、大正浪漫夢通り商店街振興組合
4. 参加者 18名
5. 内 容 ①防災士による講話  
②防災備蓄品の使用体験



簡易型屋外消火栓操作訓練



防災備蓄品の使用体験

## 13-10 蔵造り資料館耐震化事業

蔵造り資料館は、明治26年（1893）の川越大火の直後に煙草商小山文蔵氏により再建された店蔵を中心に、店蔵に隣接した土蔵造りの添屋、背後に木造の住居棟のほか3棟の土蔵、外便所等により構成されている。過去に、住居棟の半解体修理、二番蔵の構造補強をはじめ、外壁の修繕等が行われているが、経年による外壁等の劣化、雨水の流入による軸部の腐蝕、建物の不同沈下が進行している。

そのため、伝統的建造物の維持管理、また公開活用に資する建造物等の安全性の観点から、耐震化事業を実施中である。

### 令和6年度 蔵造り資料館店蔵耐震化工事

平成26年度の耐震診断調査、平成27年度の耐震化工事実施設計を受け、平成29年度より店蔵・添屋・住居棟・一番蔵の耐震化工事を開始した。平成30年度は店蔵・添屋の屋根解体、柱や桁の補修等を行ったが、工事請負業者が裁判所から民事再生手続廃止決定を受けたことに伴い工事請負契約解除に至り、平成30年10月に工事を中断した。工事再開に向け、令和元年度に修理内容等検討業務委託を行い、工事途中の建物を解体・調査し、その結果を基に建物を健全化した上で、より効果的な耐震化を図るという方針に改め、令和2年度に蔵造り資料館店蔵等解体格納工事を実施した。令和3年度は解体調査結果に基づき、耐震化工事内容等を検討した結果、店蔵を先行して復原及び耐震化することとなった。令和4年度に店蔵耐震化工事の実設計を行い、令和5年度に着工した。工期は令和5年度～令和8年度まで。



竹小舞下地(土壁下地)



荒壁(表塗り)



荒壁(表塗り)乾燥養生



荒壁(裏返し塗り)乾燥養生



砂摺り(荒壁を平らにする)



砂摺り後の縄入れ

## 14 普及・啓発事業

### 14-1 職員の派遣

令和6年度は20件の依頼を受けて職員を派遣した。

	実施日	講義内容	講義場所	依頼元	参加人数	派遣職員
1	4月15日	河越館跡について	上戸自治会館	上戸うきうきサロン	30	轟
2	6月5日	河越館跡について	河越館跡	川越市文化財保護協会	42	轟
3	6月15日	河越館跡について	川越市北公民館	川越市北公民館	73	平野
4	7月2日	時の鐘について	時の鐘	初雁中学校	10	宮原
5	10月3日	川越の織物について	川越市立博物館	川越ふるさと塾	45	石田
6	10月12日	弥生時代の千葉県北部域	千葉市立郷土博物館	千葉市立郷土博物館	200	轟
7	10月16日	川越まつりについて	川越小学校	川越小学校	85	石田
8	10月29日	河越館跡について	川越市霞ヶ関北公民館	川越市霞ヶ関北公民館	23	平野
9	11月8日	川越市地域計画について	山田中学校	川越市教育研究会	20	宮原
10	11月17日	知られざる川越の史跡について	大東文化大学	大東文化大学	10	宮原
11	11月21日	山王塚古墳について	川越市南公民館	川越市南公民館	50	石井
12	11月28日	新宿周辺の歴史	川越市南公民館	川越市南公民館	30	天ヶ嶋
13	12月6日	徳川家康と武田家の攻防	川越市伊勢原公民館	川越市伊勢原公民館	57	宮原
14	12月26日	埋蔵文化財のお仕事	川越市大東南公民館	川越市大東南公民館	100	天ヶ嶋
15	2月8日	中世の名細地区	川越市霞ヶ関北公民館	川越市霞ヶ関北公民館	30	井口
16	2月20日	西武大宮線について	川越市古谷公民館	川越市古谷公民館	19	天ヶ嶋
17	2月23日	河越氏について	川越市立博物館	川越市立博物館	88	平野
18	2月27日	川越駅と鉄道	川越市南公民館	川越市南公民館	63	天ヶ嶋
19	3月5日	川越の原始・古代について	川越市南公民館	川越市南公民館	23	石井
20	3月9日	河越城と北条氏	川越市立博物館	川越市立博物館	87	井口

## 14-2 刊行物

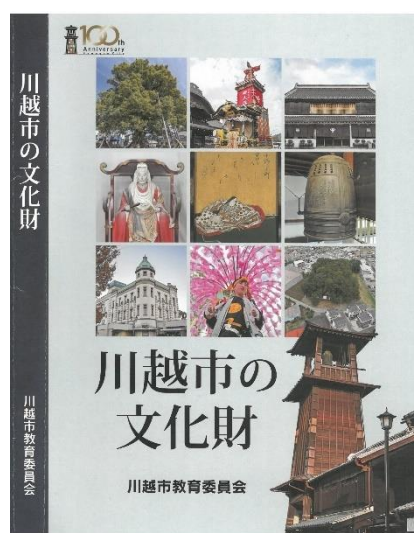
パンフレット及び書籍を発行し、文化財の保護普及の一助としている。

パンフレット

国指定史跡 山王塚古墳	川越建物細見
国指定史跡 河越館跡	川越市指定文化財 時の鐘
川越の祭り と 芸能	国指定史跡 河越館跡 史跡公園
川越城中ノ門堀跡	川越氷川祭の山車行事（日本語ほか9か国語）
市指定史跡 永島家住宅（旧武家屋敷）	

書籍・地図（有償頒布）

川越市の文化財	川越の民俗調査報告書第1集 福原・南古谷地区の民俗
ハンドブック 川越の歴史	川越の民俗調査報告書第2集 山田地区の民俗
続川越の伝説	川越市指定文化財 旧山崎家別邸調査報告書
川越の人物誌 第1集	元町二丁目井上家文書目録
川越の人物誌 第2集	川越市山田地区民具調査報告書 鹿倉家の民具
川越の人物誌 第3集 女性編	川越の寺院建築
川越氷川祭りの山車行事調査報告書	川越の神社建築
川越市文化財散策マップ	時の鐘耐震化工事報告書



「川越市の文化財」第7版 令和5年3月31日発刊

### 14-3 防火訓練

実施日時	令和7年1月22日（水）
会場	喜多院・東照宮・日枝神社
共催	川越市教育委員会・川越地区消防組合 喜多院・東照宮・日枝神社
内容	通報、消火、重要物件搬出、避難などの総合訓練 貯水槽、消火器などの点検・整備及び試験運用
動員数	参加人員 107 名 出動車両 9 台（梯子車 1 台、化学車 1 台ほか） 見学者数 約 100 名

#### 概 要

昭和 24 年 1 月 26 日に法隆寺金堂壁画が火災によって焼損したことから、昭和 30 年に 1 月 26 日が「文化財防火デー」と定められ、消防庁と共同で貴重な文化財を火災から守るための取り組みを行っている。

本市では、昭和 34 年に喜多院客殿・書院に防災設備が設置されたのを契機に文化財防火訓練が開始され、毎年この時期に開催している。喜多院周辺は、重要文化財建造物 3 件 13 棟を始め、川越市内でも最も多くの文化財が集中している地域である。また、各文化財の防火設備等も整備されており、防火訓練を行なうには最適な場所といえる。



喜多院 消火の様子 1



喜多院 消火の様子 2



東照宮 放水銃による消火



日枝神社 消火の様子

## 14-4 遺跡発表会 2024

- 1.日時 令和6年8月3日(土)  
午後2時00分～午後4時30分
- 2.会場 川越市立博物館 視聴覚ホール
- 3.対象 一般
- 4.参加人数 42名
- 5.発表内容 ①河越館跡の調査成果とこれからの整備 新田屋敷遺跡第15次調査  
轟 直行  
②川越城跡の調査成果 川越城跡第48次調査  
石井 麻里帆  
③山王塚古墳の歴史と価値  
平野 寛之  
④出土遺物展示解説  
全 員
- 6.概要

毎年実施している発掘調査の成果を、いち早く市民に公開することを目的とした活用事業である。今回は令和5年度に実施した発掘調査の内、新田屋敷遺跡第15次調査、川越城跡第48次調査の成果と山王塚古墳について報告した。

発表終了後、博物館に展示されている各遺跡の遺物の解説を行い、見学してもらった。

## 14-5 国指定史跡 河越館跡現地見学会

### (1) 河越館跡現地見学会

- 1.日時 令和7年3月25日(火)  
午後1時30分～午後4時00分
- 2.会場 国指定史跡河越館跡 川越市上戸192-1他
- 3.対象 地元小・中学校、一般
- 4.参加人数 64名(地元小・中学校:20名、一般:44名)
- 5.概要

国指定史跡河越館跡の歴史的価値や魅力を広めるため、第1次整備地内の史跡公園を中心に現地見学会を実施した。地元小・中学生向けと、一般向けの2回に分けて行った。

地元小・中学生向け見学会では、参加者に過去の発掘調査で出土したかわらけや刀等の遺物を展示し、河越館跡の歴史を解説した。一般向けの見学会では、参加者を2つのグループに分け、河越館跡史跡公園内の7つの見学ポイントと遺物展示を巡りながら、河越氏の歴史や館の復元整備された遺構の解説を行った。



# 15 川越市の文化財数

令和7年3月31日現在

国指定等文化財		県指定文化財		市指定文化財		合計			
種別	件数	種別	件数	種別	件数				
重要文化財	建造物	5	有形文化財	建造物	9	有形文化財	建造物	50	64
	絵画	2		絵画	2		絵画	1	5
				彫刻	2		彫刻	12	14
	工芸品	3		工芸品	5		工芸品	18	26
	書跡・典籍・古文書	1		書跡・典籍・古文書	7		書跡・典籍・古文書	28	36
				考古資料	1		考古資料	6	7
				歴史資料	1		歴史資料	6	7
民俗文化財			民俗文化財	有形民俗文化財	1	民俗文化財	有形民俗文化財	20	21
	重要無形民俗文化財	1		無形民俗文化財	6		無形民俗文化財	12	19
記念物	史跡	2	記念物	史跡	3	記念物	史跡	31	36
				天然記念物	1		天然記念物	8	9
				旧跡	4				4
国指定文化財計		14	県合計		42	市合計		192	248
重要伝統的建造物群保存地区		1							
重要美術品		2							
登録有形文化財		12							
登録記念物		1							
国合計		30							
合計		264件							

川越市文化財保護年報

令和 6 年度

令和 8 年 3 月 31 日

発行 川越市教育委員会文化財保護課  
〒350-8601  
川越市元町 1 丁目 3 番地 1  
TEL 049-224-6097 (直通)